

令和6年度
千葉県海岸漂着物組成調査業務委託
報告書

内外地図株式会社

令和7年2月

目次

1. 調査の概要	1
1.1 目的	1
1.2 業務実施期間	1
1.3 調査の内容	1
2. 海岸漂着物組成調査	2
2.1 調査地点	2
2.2 調査方法	3
2.2.1 調査区域の設定	3
2.2.2 調査方法	3
2.3 調査時期の過去の降水量	9
2.4 調査工程	12
3. 調査結果	13
3.1 布引海岸調査結果（富津市）	13
3.1.1 調査地点	13
3.1.2 調査前後の写真	14
3.1.3 海岸漂着物の調査結果	17
3.1.4 海岸漂着物の分類結果	24
3.1.5 布引海岸における漂着物の傾向と特徴	31
3.2 九十九里海岸・中谷里調査結果（旭市）	34
3.2.1 調査地点	34
3.2.2 調査前後の写真	35
3.2.3 海岸漂着物の調査結果	38
3.2.4 海岸漂着物の分類結果	45
3.2.5 九十九里海岸・中谷里における漂着物の傾向と特徴	53
3.3 まとめ	56
4. 経年変化に関する検討	57
4.1 布引海岸（富津市）	57
4.2 九十九里海岸・中谷里（旭市）	65

1. 調査の概要

1.1 目的

本業務は、海岸漂着物を含む海洋ごみ全般に係る対策の対象や方向性、具体的な対策等の検討のための指標、さらには実施した施策の長期的な評価指標を得るために、千葉県のコ岸において、長期的かつ継続的に海岸漂着物の組成や存在量を把握し、さらに、それらの経年変化を把握することを目的として調査を実施した。

1.2 業務実施期間

令和6年10月11日（金）から令和7年2月21日（金）まで

1.3 調査の内容

布引海岸（富津市）及び九十九里海岸・中谷里（旭市）の2地点で調査を実施した。調査にあたっては、環境省「地方公共団体向け漂着ごみ組成調査ガイドライン（令和5年6月第3版）」（以降ガイドラインと呼称）に基づき実施した。また、データシートについては、オプション項目まで計測を行うため「漂着ごみデータシート②」を使用した。

2. 海岸漂着物組成調査

2.1 調査地点

調査は、過年度より継続して調査を実施している内房の富津市布引海岸及び外房の旭市九十九里海岸・中谷里で実施した（図 2.1）。

※「九十九里海岸・中谷里」は、令和 2 年度、3 年度調査における「中谷里海岸」と同じ調査地点を指す。



図 2.1 海岸漂着物組成調査地点

2.2 調査方法

調査は、ガイドラインに基づき以下のとおり、実施した。

2.2.1 調査区域の設定

各海岸内に、漂着物の代表的な状況が把握できるような調査区画を設定し調査を実施した。調査区画は、海岸線沿いに原則として連続した 50m とし、奥行きは砂浜部と植生部際までとした。各海岸の調査区画の詳細は表 2.2.1 の通りである。

表 2.2.1 調査区画

海岸名	海岸線長 (m)	砂浜部の奥行き (m)	調査区画の選定理由
布引海岸 (富津市)	50	22	海岸漂着物量が平均的な地点のため
九十九里海岸・ 中谷里 (旭市)	50	30	海岸漂着物量が平均的な地点のため

2.2.2 調査方法

調査対象としたごみは、ガイドラインに基づき長さ 2.5cm 以上のごみとした。なお、2.5 cm 未満のごみであっても分類表に記載の項目のうち発生源推定に資するもの(たばこの吸い殻(フィルター)、カキ養殖用まめ管など)は回収した。

回収したごみについて、「分類表」(図 2.2.2-1)の必須項目及びオプション項目に従って分類した上で、個数・容量(L)・重量(kg)を計測し、「漂着ごみデータシート②」(図 2.2.2-2)を使用し、記録した。

漂着物のうち、ペットボトル、ペットボトルのキャップ・ふた及び漁業用の浮子(ブイ)については、印字等から製造国が明らかな漂着物については、「言語表記等調査のデータシート」(図 2.2.2-3)に従って分類、個数を計測した。

また、回収したごみが、破損等により元の製品の一部のみであった場合は、元の製品が推定できる場合は元の製品として分類し、推定できない場合は破片に分類した。例えば、回収したプラスチックごみが色や形状等によって漁業用浮子(ブイ)であると推定できる場合は「プラスチック 浮子(ブイ)」に分類し、推定できない場合は「プラスチック 破片」として分類する。なお、破片類や灌木に分類されたものは、個数を計測しない。

大型の流木など運搬が困難なものについては、無理に回収を行わず、種類、量(容量が把握できる寸法及び個数)を記録した。重量については、令和 5 年度漂着ごみ組成調査研修資料に記載されている重量換算係数を用いて記録した容量から算出した(表 2.2.2)。

表 2.2.2 大型漂着物の重量換算係数

品目	換算係数(kg/L)
流木	0.37

(環境省 2024「令和 6 年度漂着ごみ組成調査研修資料」54 頁より抜粋)

大分類	必須項目	オプション項目	ブラ分類	
プラスチック類	ボトルのキャップ、ふた	ボトルのキャップ、ふた	容器包装	
	ボトル<1L	飲料用(ペットボトル)<1L	飲料用(ペットボトル)<1L	容器包装
		その他のプラボトル<1L	その他のプラボトル<1L	容器包装
		飲料用(ペットボトル)≥1L	飲料用(ペットボトル)≥1L	容器包装
		その他のプラボトル類≥1L	その他のプラボトル類≥1L	容器包装
	ストロー	ストロー	製品	
	マドラー、フォーク、ナイフ、スプーン等	マドラー、フォーク、ナイフ、スプーン等	製品	
	食品容器(ファーストフード、コップ、ランチボックス、それに類するもの)	コップ、食器		製品
		食品容器		容器包装
	ポリ袋(不透明、透明)	食品の容器包装		容器包装
		レジ袋		容器包装
		その他プラスチック袋		容器包装
	ライター	ライター	製品	
	テープ(荷造りバンド、ビニールテープ)	テープ(荷造りバンド、ビニールテープ)	製品	
	シートや袋の破片	シートや袋の破片	その他	
	硬質プラスチック破片	硬質プラスチック破片	その他	
	ウレタン	ウレタン	その他	
	浮子(ブイ)(漁具)	浮子(ブイ)(漁具)	海域由来	
	ロープ、ひも(漁具)	ロープ、ひも(漁具)	海域由来	
	アナゴ筒(フタ、筒)(漁具)	アナゴ筒(フタ、筒)(漁具)	海域由来	
	カキ養殖用まめ管(長さ1.5cm)(漁具)	カキ養殖用まめ管(長さ1.5cm)(漁具)	海域由来	
	カキ養殖用パイプ(長さ10-20cm)(漁具)	カキ養殖用パイプ(長さ10-20cm)(漁具)	海域由来	
	漁網(漁具)	漁網(漁具)	海域由来	
	その他の漁具(漁具)	かご漁具		海域由来
		その他の漁具		海域由来
	釣具	釣りのルアー、浮き		海域由来
		釣り糸		海域由来
		その他の釣具		海域由来
	たばこ吸殻(フィルター)	たばこ吸殻(フィルター)	製品	
	生活雑貨(歯ブラシ等)	生活雑貨(歯ブラシ等)	製品	
	苗木ポット	苗木ポット	製品	
	その他	花火		製品
		玩具		製品
プラスチック梱包材			容器包装	
シリンジ、注射器			製品	
分類に無いもので多数見つけた場合には記載			品目による	
その他			品目による	
プラスチック類 (発泡スチロール)	コップ、食品容器	食品容器(発泡スチロール)	容器包装	
		コップ、食器(発泡スチロール)	製品	
	発泡スチロール製フロート、浮子(ブイ)	発泡スチロール製フロート、浮子(ブイ)	海域由来	
	発泡スチロールの破片	発泡スチロールの破片	その他	
	発泡スチロール製包装材	発泡スチロール製包装材	容器包装	
	その他	分類に無いもので多数見つけた場合には記載	品目による	
	その他	品目による		

図 2.2.2-1 (1) 分類表

大分類	必須項目	オプション項目	プラ分類
ゴム	ゴム	タイヤ 玩具、ボール 風船 靴(サンダル、靴底含む) ゴムの破片 分類に無いもので多数見つかった場合には記載 その他	
ガラス、陶器	ガラス、陶器	建築資材 食品容器 ガラス、陶器の破片 食品以外容器 コップ、食器 電球 蛍光管 分類に無いもので多数見つかった場合には記載 その他	
金属	金属	ビンのふた、キャップ、ブルタブ アルミの飲料缶 スチール製飲料用缶 金属製コップ、食器 フォーク、ナイフ、スプーン等 その他の缶(ガスボンベ、ドラム缶、バケツ等) 金属片 ワイヤー、針金 金属製漁具 分類に無いもので多数見つかった場合には記載 その他	
紙、ダンボール	紙、ダンボール	紙製コップ、食器 タバコのパッケージ(フィルム、銀紙を含む) 花火 紙袋 食品包装材 紙製容器(飲料用紙パック等) 紙片(段ボール、新聞紙等を含む) 分類に無いもので多数見つかった場合には記載 その他	
天然繊維、革	天然繊維、革	ロープ、ひも 分類に無いもので多数見つかった場合には記載 その他	
木(木材等)	木(木材等)	木材(物流用パレット、木炭等含む) 分類に無いもので多数見つかった場合には記載 その他	
電化製品、電子機器	電化製品、電子機器	電化製品、電子機器	
自然物	自然物	灌木(植物片を含む、径10cm未満、長さ1m未満) 流木(径10cm以上、長さ1m以上) 分類に無いもので多数見つかった場合には記載 その他	
人力で動かせない物			

図 2.2.2-1 (2) 分類表

漂着ごみ データシート②

都道府県名: _____

調査海岸: _____ 市町村 _____ 海岸 _____

調査実施日: _____ 年 _____ 月 _____ 日 ~ _____ 年 _____ 月 _____ 日

回収開始時刻: _____ 時 _____ 分

回収終了時刻: _____ 時 _____ 分

回収作業人数: _____ 人

調査海岸の奥行き(平均): _____ m

海岸基質: 砂浜 礫浜 礫浜 その他(_____)

調査地点 中心点: N _____ E _____

※小数点第5位まで記載(例: N 35.00000, E 135.00000)

清掃: 3ヶ月以内に実施 1年以内に実施

台風・豪雨: 1ヶ月以内 3ヶ月以内

重機の使用: 無 有 (バックホウ 台、ユニック 台 その他(_____))

奥行き方向の回収範囲: 全範囲 一部範囲 (_____ m)

河口付近: 島嶼地域:

大分類	必須項目	オプション項目	個数	容量(L) ※	重量(kg) ※	
プラスチック	ボトルのキャップ、ふた	ボトルのキャップ、ふた				
	ボトル	飲料用(ペットボトル) < 1L	飲料用(ペットボトル) < 1L			
		その他のプラボトル < 1L	その他のプラボトル < 1L			
		飲料用(ペットボトル) ≥ 1L	飲料用(ペットボトル) ≥ 1L			
		その他のプラボトル類 ≥ 1L	その他のプラボトル類 ≥ 1L			
	ストロー	ストロー				
	マドラー、フォーク、ナイフ、スプーン等	マドラー、フォーク、ナイフ、スプーン等				
	食品容器(ファーストフード、コップ、ランチボックス、それに類するもの)	カップ、食器 食品容器				
	ポリ袋(不透明、透明)	食品の容器包装 レジ袋 その他プラスチック袋				
	ライター	ライター				
	テープ(荷造りバンド、ビニールテープ)	テープ(荷造りバンド、ビニールテープ)				
	シートや袋の破片	シートや袋の破片				
	硬質プラスチック破片	硬質プラスチック破片				
	ウレタン	ウレタン				
	浮子(ブイ)(漁具)	浮子(ブイ)(漁具)				
	ロープ、ひも(漁具)	ロープ、ひも(漁具)				
	アナゴ筒(フタ、筒)(漁具)	アナゴ筒(フタ、筒)(漁具)				
	カキ養殖用まめ管(長さ1.5cm)(漁具)	カキ養殖用まめ管(長さ1.5cm)(漁具)				
	カキ養殖用パイプ(長さ10-20cm)(漁具)	カキ養殖用パイプ(長さ10-20cm)(漁具)				
	漁網(漁具)	漁網(漁具)				
	その他の漁具(漁具)	かご漁具 その他の漁具				
	釣具	釣りのルアー・浮き 釣り糸 その他の釣具				
	たばこ吸殻(フィルター)	たばこ吸殻(フィルター)				
	生活雑貨(歯ブラシ等)	生活雑貨(歯ブラシ等)				
	苗木ポット	苗木ポット				
	その他	花火 玩具 プラスチック梱包材 シリンジ、注射器 分類に無いもので多数見つかった場合には記載(_____) その他				
(発泡スチロール)	コップ、食品容器	食品容器(発泡スチロール) コップ、食器(発泡スチロール)				
	発泡スチロール製フロート、浮子(ブイ)	発泡スチロール製フロート、浮子(ブイ)				
	発泡スチロールの破片	発泡スチロールの破片				
	発泡スチロール製包装材	発泡スチロール製包装材				
	その他	分類に無いもので多数見つかった場合には記載(_____) その他				

※ 少なくとも「個数及び容量(L)」または「個数及び重量(kg)」を計測する。可能であれば、「個数・容量(L)・重量(kg)」すべて計測する。

図 2.2.2-2 (1) 漂着ごみデータシート②

大分類	必須項目	オプション項目	個数	容量(L) ※	重量(kg) ※
ゴム	ゴム	タイヤ			
		玩具、ボール			
		風船			
		靴(サンダル、靴底含む)			
		ゴムの破片			
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載() その他			
ガラス、陶器	ガラス、陶器	建築資材			
		食品容器			
		ガラス、陶器の破片			
		食品以外容器			
		コップ、食器			
		電球			
		蛍光管			
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載() その他			
金属	金属	ビンのふた、キャップ、プルタブ			
		アルミの飲料缶			
		スチール製飲料用缶			
		金属製コップ、食器			
		フォーク、ナイフ、スプーン等			
		その他の缶(ガスボンベ、ドラム缶、バケツ等)			
		金属片			
		ワイヤー、針金			
		金属製漁具			
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載() その他			
紙、ダンボール	紙、ダンボール	紙製コップ、食器			
		タパコのパッケージ(フィルム、銀紙を含む)			
		花火			
		紙袋			
		食品包装材			
		紙製容器(飲料用紙パック等)			
		紙片(段ボール、新聞紙等を含む)			
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載() その他			
天然繊維、革	天然繊維、革	ロープ、ひも			
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載() その他			
木(木材等)	木(木材等)	木材(物流用パレット、木炭等含む)			
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載() その他			
電化製品、電子機器	電化製品、電子機器	電化製品、電子機器			
自然物	自然物	灌木(植物片を含む、径10cm未満、長さ1m未満)			
		流木(径10cm以上、長さ1m以上)			
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載() その他			
その他	その他	その他1()			
		その他2()			
		その他3()			
人力で動かせない物	緯度: 経度:	ごみの種類()			

※ 少なくとも「個数及び容量(L)または「個数及び重量(kg)」を計測する。可能であれば、「個数・容量(L)・重量(kg)」すべて計測する。

図 2.2.2-2 (2) 漂着ごみデータシート②

2.3 調査時期の過去の降水量

海岸漂着物組成調査は、過去5年間の9月1日～11月30日の降水量（図2.3-1および図2.3-2）を参考に、出水期を避け気象が安定した時期を選定し実施した。

降水量の気象データは、調査地点付近の観測所を選定し取得した。布引海岸（富津市）については木更津観測所、九十九里海岸・中谷里（旭市）については横芝光観測所の気象データを参照した。

木更津観測所の令和元（2019）年から令和5（2023）年の気象データを参照すると、9月から10月中旬の時期に比較的まとまった雨が観測されており、10月下旬から11月にかけては比較的降雨が少ないことを確認した。布引海岸（富津市）の調査時期の選定にあたっては、降雨の少ない10月下旬から11月にかけての時期にて調査実施日を選定することとした。

横芝光観測所の令和元（2019）年から令和5（2023）年の気象データを参照すると、9月から10月中旬の時期に比較的まとまった雨が観測されており、10月下旬から11月にかけては令和元（2019）年を除いて、比較的降雨が少ないことを確認した。九十九里海岸・中谷里（旭市）の調査時期の選定にあたっては、降雨の少ない10月下旬から11月にかけての時期にて調査実施日を選定することとした。

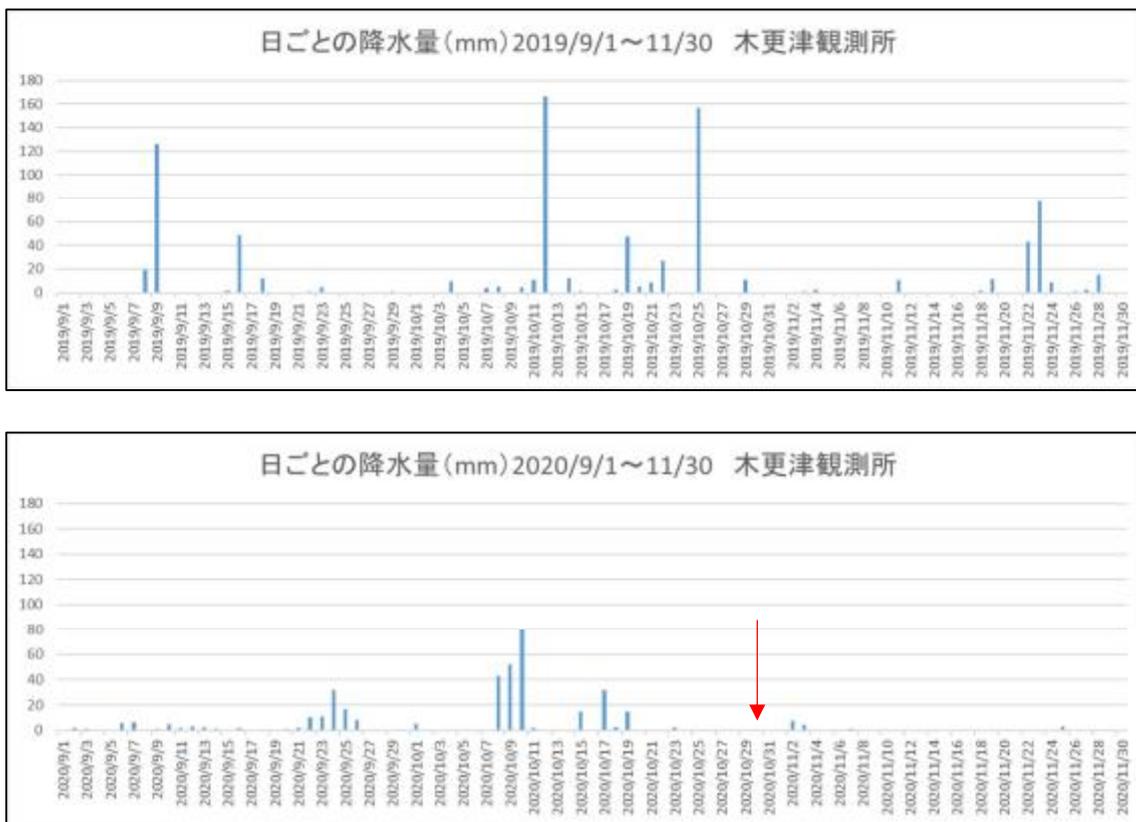
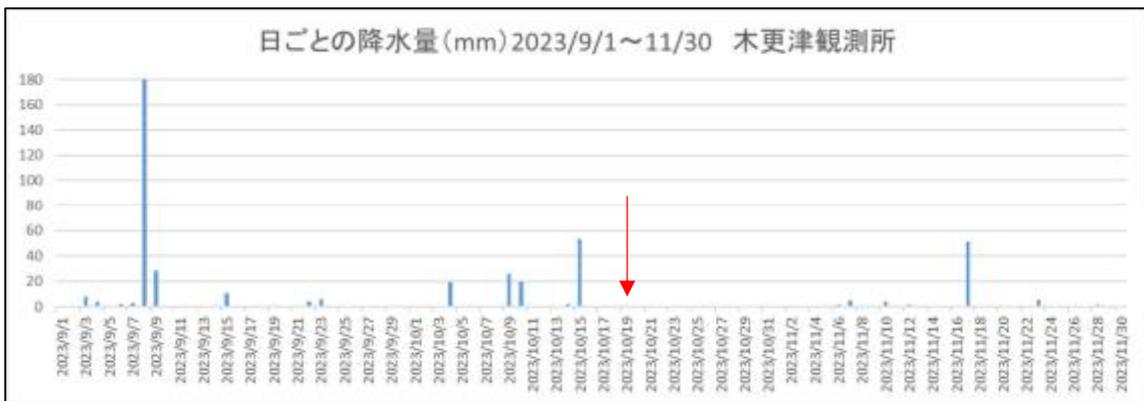
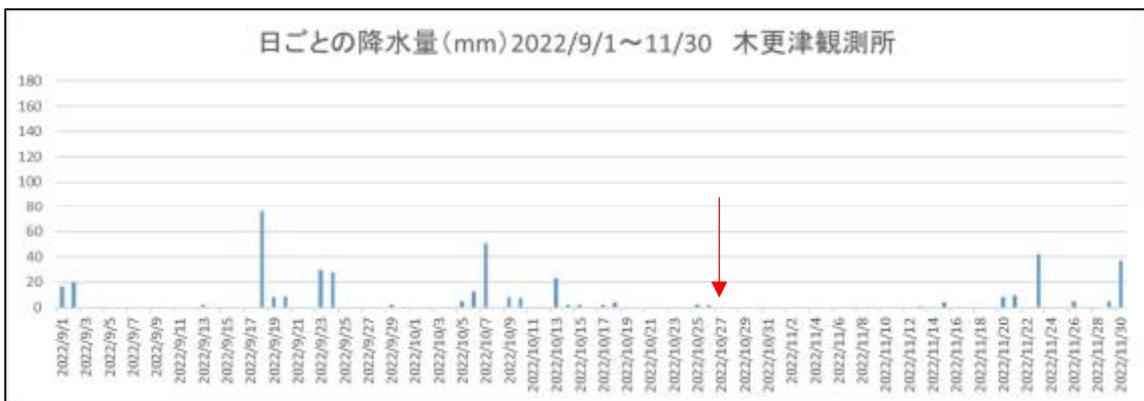
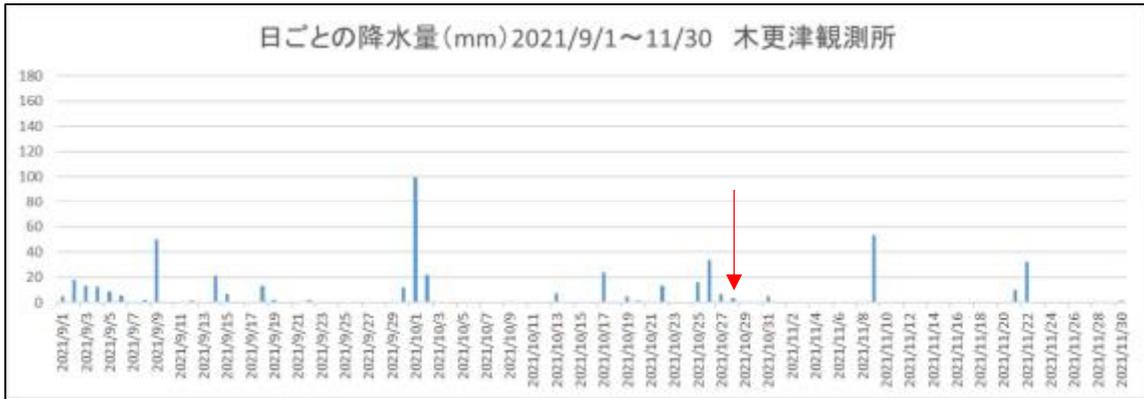


図 2.3-1(1) 過去5年間（2019年～2023年）9月1日～11月30日における木更津観測所の日ごとの降水量（赤矢印：調査実施日）



(気象庁「過去の気象データ」: <https://www.data.jma.go.jp/gmd/risk/obsdl/index.php>)

図 2.3-1(2) 過去5年間(2019年～2023年)9月1日～11月30日における
木更津観測所の日ごとの降水量(赤矢印:調査実施日)

(気象庁「過去の気象データ」: <https://www.data.jma.go.jp/gmd/risk/obsdl/index.php>)

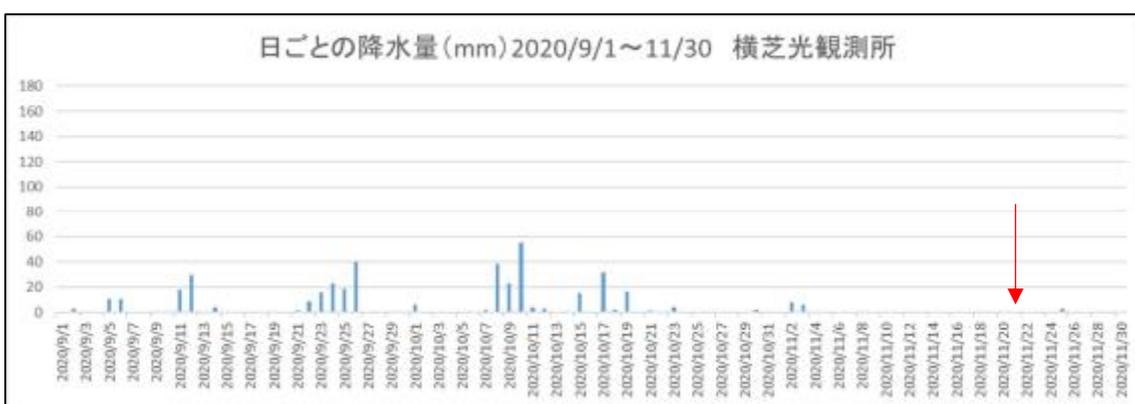
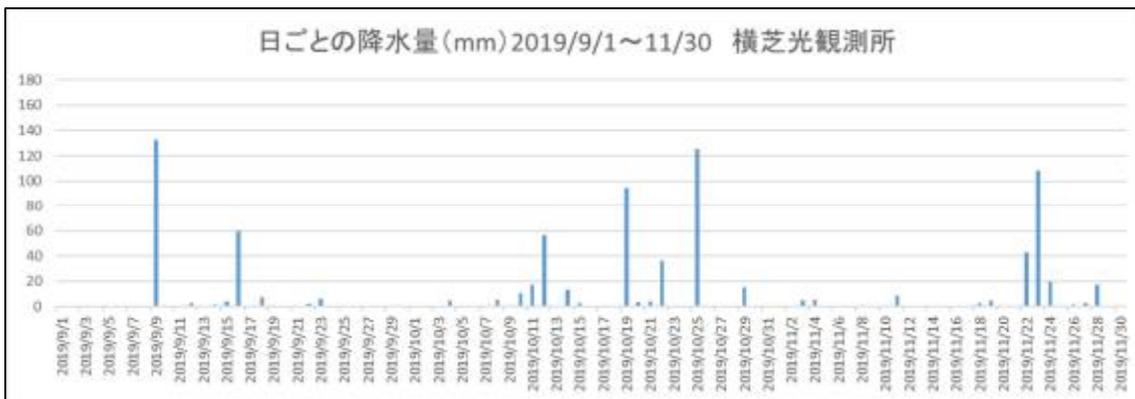


図 2.3-2(1) 過去5年間(2019年～2023年)9月1日～11月30日における
横芝光観測所の日ごとの降水量(赤矢印:調査実施日)
(気象庁「過去の気象データ」:<https://www.data.jma.go.jp/gmd/risk/obsdl/index.php>)

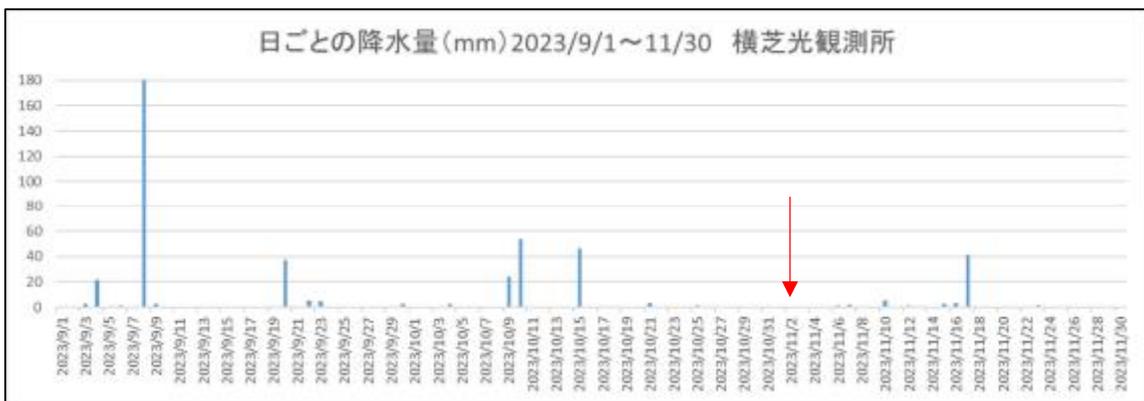
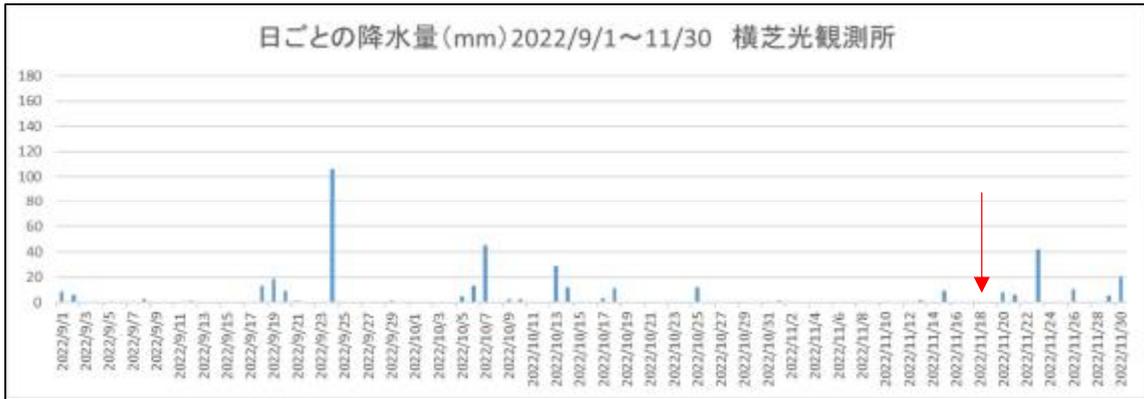


図 2.3-2(2) 過去 5 年間（2019 年～2023 年）9 月 1 日～11 月 30 日における
横芝光観測所の日ごとの降水量（赤矢印：調査実施日）
（気象庁「過去の気象データ」：<https://www.data.jma.go.jp/gmd/risk/obsdl/index.php>）

2.4 調査工程

調査は、表 2.4 の通りに実施した。

表 2.4 調査実施日

海岸名	実施日及び調査内容
布引海岸（富津市）	令和 6 年 11 月 12 日：回収・分別・計測・記録作業
九十九里海岸・中谷里（旭市）	令和 6 年 11 月 19 日：回収・分別・計測・記録作業

3. 調査結果

3.1 布引海岸調査結果（富津市）

3.1.1 調査地点

富津市布引海岸内に、漂着物の代表的な状況が把握できるような調査区画を設定した。調査区画を図 3.1.1 に示す。



図 3.1.1 富津市布引海岸調査区画全体図

3.1.2 調査前後の写真

布引海岸における海岸漂着物の回収前後の写真を写真 3.1.2 に示す。

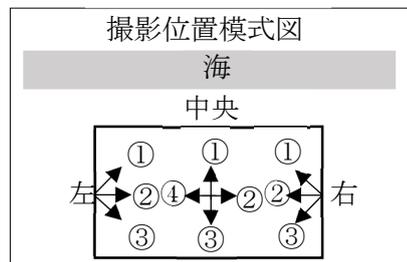


写真 3.1.2 (1) 海岸漂着物の回収前後の写真（富津市布引海岸：令和 6 年 11 月 12 日）

	回収前	回収後
左 ①		
左 ②		
左 ③		

写真 3.1.2 (2) 海岸漂着物の回収前後の写真（富津市布引海岸：令和6年11月12日）

	回収前	回収後
中央①	 A wide-angle photograph of a sandy beach. The foreground is covered with dark, wet sand and scattered pieces of driftwood and debris. The ocean is visible in the background under a cloudy sky. A date stamp '2024/11/12' is visible in the bottom right corner.	 A wide-angle photograph of the same beach after cleanup. The sand is much cleaner and darker, with no visible debris or driftwood. The ocean and sky are the same as in the 'before' photo. A date stamp '2024/11/12' is visible in the bottom right corner.
中央②	 A photograph of a beach area with prominent tire tracks in the sand. There is a pile of debris and driftwood in the middle ground. The sky is overcast. A date stamp '2024/11/12' is visible in the bottom right corner.	 A photograph of the same beach area after cleanup. The tire tracks remain, but the debris and driftwood have been removed. A date stamp '2024/11/12' is visible in the bottom right corner.
中央③	 A photograph of a beach area with sparse vegetation. There is a small, rectangular structure or pile of debris in the middle ground. A date stamp '2024/11/12' is visible in the bottom right corner.	 A photograph of the same beach area after cleanup. The structure or pile of debris has been removed, leaving a clean, flat area of sand. A date stamp '2024/11/12' is visible in the bottom right corner.
中央④	 A photograph of a beach area with prominent tire tracks and a pile of debris. The sky is overcast. A date stamp '2024/11/12' is visible in the bottom right corner.	 A photograph of the same beach area after cleanup. The tire tracks remain, but the debris has been removed. A date stamp '2024/11/12' is visible in the bottom right corner.

写真 3.1.2 (3) 海岸漂着物の回収前後の写真（富津市布引海岸：令和6年11月12日）

	回収前	回収後
右①		
右②		
右③		

3.1.3 海岸漂着物の調査結果

本調査により回収した海岸漂着物の例を写真 3.1.3 に示す。

また、回収した海岸漂着物の調査結果について、個数の結果を表 3.1.3-1 に、容量の結果を表 3.1.3-2 に、重量の結果を表 3.1.3-3 に示す。各表では、計測した値のほかに、各オプション項目の分類について、その分類が属する大分類の合計に占める割合及び回収物の総計に占める割合を併記した。その際、小数点第二位を四捨五入したため、端数処理の関係で合計値が一致しないことがある。

写真 3.1.3 海岸漂着物の例

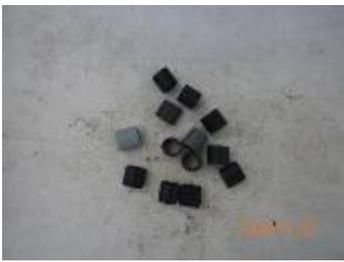
		
<p>プラスチック類 (ボトルのキャップ、ふた)</p>	<p>プラスチック類 (シートや袋の破片)</p>	<p>プラスチック類 (ストロー)</p>
		
<p>プラスチック類 (ポリ袋 (食品の容器包装))</p>	<p>プラスチック類 (カキ養殖用まめ管 (長さ 1.5cm) (漁具))</p>	<p>ガラス、陶器 (蛍光管)</p>

表 3.1.3-1 (1) 海岸漂着物の集計結果 (個数)

大分類	必須項目	オプション項目	個数(個)	各大分類の合計個数に占める割合(%)		
				個数の総計に占める割合(%)		
プラスチック	ボトルのキャップ、ふた	ボトルのキャップ、ふた	38	18.5	9.6	
		小計	38	18.5	9.6	
	ボトル	飲料用(ペットボトル)<1L		2	1.0	0.5
		その他のプラボトル<1L		0	0.0	0.0
		飲料用(ペットボトル)≥1L		0	0.0	0.0
		その他のプラボトル類≥1L		0	0.0	0.0
		小計	2	1.0	0.5	
	ストロー	ストロー	27	13.2	6.8	
		小計	27	13.2	6.8	
	マドラー、フォーク、ナイフ、スプーン等	マドラー、フォーク、ナイフ、スプーン等	0	0.0	0.0	
		小計	0	0.0	0.0	
	食品容器(ファーストフード、コップ、ランチボックス、それに類するもの)	カップ、食器		0	0.0	0.0
		食品容器		16	7.8	4.1
		小計	16	7.8	4.1	
		ポリ袋(不透明、透明)	食品の容器包装	28	13.7	7.1
		レジ袋	0	0.0	0.0	
		その他プラスチック袋	0	0.0	0.0	
		小計	28	13.7	7.1	
	ライター	ライター	2	1.0	0.5	
		小計	2	1.0	0.5	
	テープ(荷造りバンド、ビニールテープ)	テープ(荷造りバンド、ビニールテープ)	4	2.0	1.0	
		小計	4	2.0	1.0	
	シートや袋の破片	シートや袋の破片				
		小計				
	硬質プラスチック破片	硬質プラスチック破片				
		小計				
	ウレタン	ウレタン	10	4.9	2.5	
		小計	10	4.9	2.5	
	ブイ(漁具)	浮子(ブイ)(漁具)	1	0.5	0.3	
		小計	1	0.5	0.3	
	ロープ、ひも(漁具)	ロープ、ひも(漁具)	36	17.6	9.1	
		小計	36	17.6	9.1	
	アナゴ筒(フタ、筒)(漁具)	アナゴ筒(フタ、筒)(漁具)	0	0.0	0.0	
		小計	0	0.0	0.0	
	カキ養殖用まめ管(長さ1.5cm)(漁具)	カキ養殖用まめ管(長さ1.5cm)(漁具)	13	6.3	3.3	
		小計	13	6.3	3.3	
	カキ養殖用パイプ(長さ10-20cm)(漁具)	カキ養殖用パイプ(長さ10-20cm)(漁具)	0	0.0	0.0	
		小計	0	0.0	0.0	
	漁網(漁具)	漁網(漁具)	0	0.0	0.0	
		小計	0	0.0	0.0	
	その他の漁具(漁具)	かご漁具	0	0.0	0.0	
その他の漁具		0	0.0	0.0		
	小計	0	0.0	0.0		
釣具	釣りのルアー・浮き	6	2.9	1.5		
	釣り糸	0	0.0	0.0		
	その他の釣具	2	1.0	0.5		
	小計	8	3.9	2.0		
たばこ吸殻(フィルター)	たばこ吸殻(フィルター)	2	1.0	0.5		
	小計	2	1.0	0.5		
生活雑貨(歯ブラシ等)	生活雑貨(歯ブラシ等)	18	8.8	4.6		
	小計	18	8.8	4.6		
苗木ポット	苗木ポット	0	0.0	0.0		
	小計	0	0.0	0.0		
その他	花火	0	0.0	0.0		
	玩具	0	0.0	0.0		
	プラスチック梱包材	0	0.0	0.0		
	シリンジ・注射器	0	0.0	0.0		
	分類に無いもので多数見つかった場合には記載()	0	0.0	0.0		
	その他	0	0.0	0.0		
	小計	0	0.0	0.0		
	プラスチック 合計	205	100.0	51.9		
(発泡スチロール)	コップ、食品容器	食品容器(発泡スチロール)	0	0.0	0.0	
		コップ、食器(発泡スチロール)	0	0.0	0.0	
		小計	0	0.0	0.0	
	発泡スチロール製フロート、ブイ	発泡スチロール製フロート・浮子(ブイ)	0	0.0	0.0	
		小計	0	0.0	0.0	
	発泡スチロールの破片	発泡スチロールの破片				
		小計				
発泡スチロール製包装材	発泡スチロール製包装材	0	0.0	0.0		
	小計	0	0.0	0.0		
その他	分類に無いもので多数見つかった場合には記載()	0	0.0	0.0		
	その他	0	0.0	0.0		
	小計	0	0.0	0.0		
	発泡スチロール 合計	0	0.0	0.0		

表 3.1.3-1 (2) 海岸漂着物の集計結果 (個数)

大分類	必須項目	オプション項目	個数(個)	各大大分類の合計個数に占める割合(%)	
				個数の総計に占める割合(%)	
ゴム	ゴム	タイヤ	0	0.0	0.0
		玩具、ボール	0	0.0	0.0
		風船	0	0.0	0.0
		靴(サンダル、靴底含む)	1	100.0	0.3
		ゴムの破片			
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載()	0	0.0	0.0
		その他	0	0.0	0.0
		小計	1	0.0	0.3
	ゴム 合計	1	100.0	0.3	
ガラス、陶器	ガラス、陶器	建築資材	0	0.0	0.0
		食品容器	0	0.0	0.0
		ガラス、陶器の破片			
		食品以外容器	0	0.0	0.0
		コップ、食器	0	0.0	0.0
		電球	0	0.0	0.0
		蛍光管	0	0.0	0.0
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載()	0	0.0	0.0
		その他	0	0.0	0.0
		小計	0	0.0	0.0
			ガラス、陶器 合計	0	0.0
金属	金属	ビンのふた、キャップ、プルタブ	0	0.0	0.0
		アルミの飲料缶	2	66.7	0.5
		スチール製飲料用缶	0	0.0	0.0
		金属製コップ、食器	0	0.0	0.0
		フォーク・ナイフ・スプーン等	0	0.0	0.0
		その他の缶(ガスボンベ、ドラム缶、バケツ等)	0	0.0	0.0
		金属片			
		ワイヤー、針金	0	0.0	0.0
		金属製漁具	0	0.0	0.0
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載()	0	0.0	0.0
		その他	1	33.3	0.3
		小計	3	100.0	0.8
			金属 合計	3	100.0
紙、ダンボール	紙、ダンボール	紙製コップ、食器	0	0.0	0.0
		タバコのパッケージ(フィルム、銀紙を含む)	0	0.0	0.0
		花火	0	0.0	0.0
		紙袋	0	0.0	0.0
		食品包装材	0	0.0	0.0
		紙製容器(飲料用紙パック等)	0	0.0	0.0
		紙片(段ボール、新聞紙等を含む)			
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載()	0	0.0	0.0
		その他	0	0.0	0.0
		小計	0	0.0	0.0
	紙、ダンボール 合計	0	0.0	0.0	
天然繊維、革	天然繊維、革	ロープ、ひも	0	0.0	0.0
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載()	0	0.0	0.0
		その他	0	0.0	0.0
小計	0	0.0	0.0		
	天然繊維、革 合計	0	0.0	0.0	
木(木材等)	木(木材等)	木材(物流用パレット、木炭等含む)	30	100.0	7.6
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載()	0	0.0	0.0
		その他	0	0.0	0.0
小計	30	100.0	7.6		
	木(木材等) 合計	30	100.0	7.6	
電化製品、電子機器	電化製品、電子機器	電化製品、電子機器	0	0.0	0.0
		小計	0	0.0	0.0
	電化製品、電子機器 合計	0	0.0	0.0	
自然物	自然物	灌木(植物片を含む、径10cm未満、長さ1m未満)			
		流木(径10cm以上、長さ1m以上)	156	100.0	39.5
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載()	0	0.0	0.0
		その他	0	0.0	0.0
小計	156	100.0	39.5		
	自然物 合計	156	100.0	39.5	
その他	その他	その他1()	0	0.0	0.0
		その他2()	0	0.0	0.0
		その他3()	0	0.0	0.0
		小計	0	0.0	0.0
	その他 合計	0	0.0	0.0	
人力で動かせない物	緯度: 経度:	ごみの種類()	0	0.0	0.0
		小計	0	0.0	0.0
	その他 合計	0	0.0	0.0	
総計			395		100.0

表 3.1.3-2 (1) 海岸漂着物の集計結果 (容量)

大分類	必須項目	オプション項目	容積 (L)	容積の総計に占める割合 (%)		
				各大分類の合計容積に占める割合 (%)	容積の総計に占める割合 (%)	
プラスチック	ボトルのキャップ、ふた	ボトルのキャップ、ふた	0.5	1.4	0.0	
		小計	0.5	1.4	0.0	
	ボトル	飲料用(ペットボトル) < 1L		0.4	1.1	0.0
		その他のプラボトル < 1L		0.0	0.0	0.0
		飲料用(ペットボトル) ≥ 1L		0.0	0.0	0.0
		その他のプラボトル類 ≥ 1L		0.0	0.0	0.0
		小計	0.4	1.1	0.0	
	ストロー	ストロー	0.2	0.6	0.0	
		小計	0.2	0.6	0.0	
	マドラー、フォーク、ナイフ、スプーン等	マドラー、フォーク、ナイフ、スプーン等	0.0	0.0	0.0	
		小計	0.0	0.0	0.0	
	食品容器(ファーストフード、コップ、ランチボックス、それに類するもの)	カップ、食器		0.0	0.0	0.0
		食品容器		0.5	1.4	0.0
		小計	0.5	1.4	0.0	
	ポリ袋(不透明、透明)	食品の容器包装		0.2	0.6	0.0
		レジ袋		0.0	0.0	0.0
		その他プラスチック袋		0.0	0.0	0.0
		小計	0.2	0.6	0.0	
	ライター	ライター	0.1	0.3	0.0	
		小計	0.1	0.3	0.0	
	テープ(荷造りバンド、ビニールテープ)	テープ(荷造りバンド、ビニールテープ)	0.1	0.3	0.0	
		小計	0.1	0.3	0.0	
	シートや袋の破片	シートや袋の破片	5.0	14.2	0.1	
		小計	5.0	14.2	0.1	
	硬質プラスチック破片	硬質プラスチック破片	5.0	14.2	0.1	
		小計	5.0	14.2	0.1	
	ウレタン	ウレタン	1.0	2.8	0.0	
		小計	1.0	2.8	0.0	
	ブイ(漁具)	浮子(ブイ)(漁具)	0.0	0.0	0.0	
		小計	0.0	0.0	0.0	
	ロープ、ひも(漁具)	ロープ、ひも(漁具)	17.4	49.4	0.4	
		小計	17.4	49.4	0.4	
	アナゴ筒(フタ、筒)(漁具)	アナゴ筒(フタ、筒)(漁具)	0.0	0.0	0.0	
		小計	0.0	0.0	0.0	
	カキ養殖用まめ管(長さ1.5cm)(漁具)	カキ養殖用まめ管(長さ1.5cm)(漁具)	0.1	0.3	0.0	
		小計	0.1	0.3	0.0	
	カキ養殖用パイプ(長さ10-20cm)(漁具)	カキ養殖用パイプ(長さ10-20cm)(漁具)	0.0	0.0	0.0	
		小計	0.0	0.0	0.0	
	漁網(漁具)	漁網(漁具)	0.0	0.0	0.0	
		小計	0.0	0.0	0.0	
	その他の漁具(漁具)	かご漁具	0.0	0.0	0.0	
その他の漁具		0.0	0.0	0.0		
	小計	0.0	0.0	0.0		
釣具	釣りのルアー・浮き		0.5	1.4	0.0	
	釣り糸		0.0	0.0	0.0	
	その他の釣具		4.0	11.4	0.1	
	小計	4.5	12.8	0.1		
たばこ吸殻(フィルター)	たばこ吸殻(フィルター)	0.0	0.0	0.0		
	小計	0.0	0.0	0.0		
生活雑貨(歯ブラシ等)	生活雑貨(歯ブラシ等)	0.2	0.6	0.0		
	小計	0.2	0.6	0.0		
苗木ポット	苗木ポット	0.0	0.0	0.0		
	小計	0.0	0.0	0.0		
その他	花火		0.0	0.0	0.0	
	玩具		0.0	0.0	0.0	
	プラスチック梱包材		0.0	0.0	0.0	
	シリンジ・注射器		0.0	0.0	0.0	
	分類に無いもので多数見つけた場合には記載()		0.0	0.0	0.0	
	その他		0.0	0.0	0.0	
	小計	0.0	0.0	0.0		
プラスチック 合計			35.2	100.0	0.8	
(発泡スチロール)	コップ、食品容器	食品容器(発泡スチロール)	0.0	0.0	0.0	
		コップ、食器(発泡スチロール)	0.0	0.0	0.0	
		小計	0.0	0.0	0.0	
	発泡スチロール製フロート、ブイ	発泡スチロール製フロート・浮子(ブイ)	0.0	0.0	0.0	
		小計	0.0	0.0	0.0	
	発泡スチロールの破片	発泡スチロールの破片	0.5	100.0	0.0	
		小計	0.5	100.0	0.0	
	発泡スチロール製包装材	発泡スチロール製包装材	0.0	0.0	0.0	
		小計	0.0	0.0	0.0	
	その他	分類に無いもので多数見つけた場合には記載()	0.0	0.0	0.0	
その他		0.0	0.0	0.0		
	小計	0.0	0.0	0.0		
発泡スチロール 合計			0.5	100.0	0.0	

表 3.1.3-2 (2) 海岸漂着物の集計結果 (容量)

大分類	必須項目	オプション項目	容積 (L)	容積の総計に占める割合 (%)	
				各大分類の合計容積に占める割合 (%)	容積の総計に占める割合 (%)
ゴム	ゴム	タイヤ	0.0	0.0	0.0
		玩具、ボール	0.0	0.0	0.0
		風船	0.0	0.0	0.0
		靴(サンダル、靴底含む)	1.0	100.0	0.0
		ゴムの破片	0.0	0.0	0.0
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載()	0.0	0.0	0.0
		その他	0.0	0.0	0.0
		小計	1.0	100.0	0.0
	ゴム 合計	1.0	100.0	0.0	
ガラス、陶器	ガラス、陶器	建築資材	0.0	0.0	0.0
		食品容器	0.0	0.0	0.0
		ガラス、陶器の破片	0.1	100.0	0.0
		食品以外容器	0.0	0.0	0.0
		コップ、食器	0.0	0.0	0.0
		電球	0.0	0.0	0.0
		蛍光管	0.0	0.0	0.0
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載()	0.0	0.0	0.0
		その他	0.0	0.0	0.0
		小計	0.1	100.0	0.0
	ガラス、陶器 合計	0.1	100.0	0.0	
金属	金属	ビンのふた、キャップ、プルタブ	0.0	0.0	0.0
		アルミの飲料缶	0.5	62.5	0.0
		スチール製飲料用缶	0.0	0.0	0.0
		金属製コップ、食器	0.0	0.0	0.0
		フォーク・ナイフ・スプーン等	0.0	0.0	0.0
		その他の缶(ガスボンベ、ドラム缶、バケツ等)	0.0	0.0	0.0
		金属片	0.1	12.5	0.0
		ワイヤー、針金	0.0	0.0	0.0
		金属製漁具	0.0	0.0	0.0
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載()	0.0	0.0	0.0
		その他	0.2	25.0	0.0
		小計	0.8	100.0	0.0
			金属 合計	0.8	100.0
紙、ダンボール	紙、ダンボール	紙製コップ、食器	0.0	0.0	0.0
		タバコのパッケージ(フィルム、銀紙を含む)	0.0	0.0	0.0
		花火	0.0	0.0	0.0
		紙袋	0.0	0.0	0.0
		食品包装材	0.0	0.0	0.0
		紙製容器(飲料用紙パック等)	0.0	0.0	0.0
		紙片(段ボール、新聞紙等を含む)	0.5	100.0	0.0
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載()	0.0	0.0	0.0
		その他	0.0	0.0	0.0
		小計	0.5	100.0	0.0
	紙、ダンボール 合計	0.5	100.0	0.0	
天然繊維、革	天然繊維、革	ロープ、ひも	0.0	0.0	0.0
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載()	0.0	0.0	0.0
		その他	0.0	0.0	0.0
小計	0.0	0.0	0.0		
	天然繊維、革 合計	0.0	0.0	0.0	
木(木材等)	木(木材等)	木材(物流用パレット、木炭等含む)	216.0	100.0	5.0
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載()	0.0	0.0	0.0
		その他	0.0	0.0	0.0
小計	216.0	100.0	5.0		
	木(木材等) 合計	216.0	100.0	5.0	
電化製品、電子機器	電化製品、電子機器	電化製品、電子機器	0.0	0.0	0.0
		小計	0.0	0.0	0.0
	電化製品、電子機器 合計	0.0	0.0	0.0	
自然物	自然物	灌木(植物片を含む、径10cm未満、長さ1m未満)	3,384.0	82.5	77.6
		流木(径10cm以上、長さ1m以上)	720.0	17.5	16.5
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載()	0.0	0.0	0.0
		その他	0.0	0.0	0.0
小計	4,104.0	100.0	94.2		
	自然物 合計	4,104.0	100.0	94.2	
その他	その他	その他1()	0.0	0.0	0.0
		その他2()	0.0	0.0	0.0
		その他3()	0.0	0.0	0.0
		小計	0.0	0.0	0.0
	その他 合計	0.0	0.0	0.0	
人力で動かせない物	緯度: 経度:	ごみの種類()	0.0	0.0	0.0
		小計	0.0	0.0	0.0
	その他 合計	0.0	0.0	0.0	
総計			4,358.1	100.0	100.0

表 3.1.3-3 (1) 海岸漂着物の集計結果 (重量)

大分類	必須項目	オプション項目	重量 (kg)	重量の総計に占める割合 (%)		
				各大分類の合計重量に占める割合 (%)	重量の総計に占める割合 (%)	
プラスチック	ボトルのキャップ、ふた	ボトルのキャップ、ふた	0.12	2.0	0.0	
		小計	0.12	2.0	0.0	
	ボトル	飲料用(ペットボトル) < 1L		0.06	1.0	0.0
		その他のプラボトル < 1L		0.00	0.0	0.0
		飲料用(ペットボトル) ≥ 1L		0.00	0.0	0.0
		その他のプラボトル類 ≥ 1L		0.00	0.0	0.0
		小計	0.06	1.0	0.0	
	ストロー	ストロー	0.05	0.9	0.0	
		小計	0.05	0.9	0.0	
	マドラー、フォーク、ナイフ、スプーン等	マドラー、フォーク、ナイフ、スプーン等	0.00	0.0	0.0	
		小計	0.00	0.0	0.0	
	食品容器(ファーストフード、コップ、ランチボックス、それに類するもの)	カップ、食器		0.00	0.0	0.0
		食品容器		0.01	0.2	0.0
		小計	0.01	0.2	0.0	
	ポリ袋(不透明、透明)	食品の容器包装		0.07	1.2	0.0
		レジ袋		0.00	0.0	0.0
		その他プラスチック袋		0.00	0.0	0.0
		小計	0.07	1.2	0.0	
	ライター	ライター	0.02	0.3	0.0	
		小計	0.02	0.3	0.0	
	テープ(荷造りバンド、ビニールテープ)	テープ(荷造りバンド、ビニールテープ)	0.01	0.2	0.0	
		小計	0.01	0.2	0.0	
	シートや袋の破片	シートや袋の破片	0.20	3.4	0.0	
		小計	0.20	3.4	0.0	
	硬質プラスチック破片	硬質プラスチック破片	0.47	8.0	0.1	
		小計	0.47	8.0	0.1	
	ウレタン	ウレタン	0.05	0.9	0.0	
		小計	0.05	0.9	0.0	
	ブイ(漁具)	浮子(ブイ)(漁具)	0.01	0.2	0.0	
		小計	0.01	0.2	0.0	
	ロープ、ひも(漁具)	ロープ、ひも(漁具)	4.53	77.2	0.6	
		小計	4.53	77.2	0.6	
	アナゴ筒(フタ、筒)(漁具)	アナゴ筒(フタ、筒)(漁具)	0.00	0.0	0.0	
		小計	0.00	0.0	0.0	
	カキ養殖用まめ管(長さ1.5cm)(漁具)	カキ養殖用まめ管(長さ1.5cm)(漁具)	0.01	0.2	0.0	
		小計	0.01	0.2	0.0	
	カキ養殖用パイプ(長さ10-20cm)(漁具)	カキ養殖用パイプ(長さ10-20cm)(漁具)	0.00	0.0	0.0	
		小計	0.00	0.0	0.0	
	漁網(漁具)	漁網(漁具)	0.00	0.0	0.0	
		小計	0.00	0.0	0.0	
	その他の漁具(漁具)	かご漁具		0.00	0.0	0.0
その他の漁具			0.00	0.0	0.0	
	小計	0.00	0.0	0.0		
釣具	釣りのルアー・浮き		0.08	1.4	0.0	
	釣り糸		0.00	0.0	0.0	
	その他の釣具		0.10	1.7	0.0	
	小計	0.18	3.1	0.0		
たばこ吸殻(フィルター)	たばこ吸殻(フィルター)	0.00	0.0	0.0		
	小計	0.00	0.0	0.0		
生活雑貨(歯ブラシ等)	生活雑貨(歯ブラシ等)	0.08	1.4	0.0		
	小計	0.08	1.4	0.0		
苗木ポット	苗木ポット	0.00	0.0	0.0		
	小計	0.00	0.0	0.0		
その他	花火		0.00	0.0	0.0	
	玩具		0.00	0.0	0.0	
	プラスチック梱包材		0.00	0.0	0.0	
	シリンジ・注射器		0.00	0.0	0.0	
	分類に無いもので多数見つかった場合には記載()		0.00	0.0	0.0	
	その他		0.00	0.0	0.0	
	小計	0.00	0.0	0.0		
	プラスチック 合計	5.87	100.0	0.8		
(発泡スチロール)	コップ、食品容器	食品容器(発泡スチロール)	0.00	0.0	0.0	
		コップ、食器(発泡スチロール)	0.00	0.0	0.0	
		小計	0.00	0.0	0.0	
	発泡スチロール製フロート、ブイ	発泡スチロール製フロート・浮子(ブイ)	0.00	0.0	0.0	
		小計	0.00	0.0	0.0	
	発泡スチロールの破片	発泡スチロールの破片	0.04	100.0	0.0	
		小計	0.04	100.0	0.0	
発泡スチロール製包装材	発泡スチロール製包装材	0.00	0.0	0.0		
	小計	0.00	0.0	0.0		
その他	分類に無いもので多数見つかった場合には記載()		0.00	0.0	0.0	
	その他		0.00	0.0	0.0	
	小計	0.00	0.0	0.0		
	発泡スチロール 合計	0.04	100.0	0.0		

表 3.1.3-3 (2) 海岸漂着物の集計結果 (重量)

大分類	必須項目	オプション項目	重量 (kg)	重量の総計に占める割合 (%)	
				各大分類の合計重量に占める割合 (%)	重量の総計に占める割合 (%)
ゴム	ゴム	タイヤ	0.00	0.0	0.0
		玩具、ボール	0.00	0.0	0.0
		風船	0.00	0.0	0.0
		靴(サンダル、靴底含む)	0.52	100.0	0.1
		ゴムの破片	0.00	0.0	0.0
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載()	0.00	0.0	0.0
		その他	0.00	0.0	0.0
		小計	0.52	100.0	0.1
	ゴム 合計	0.52	100.0	0.1	
ガラス、陶器	ガラス、陶器	建築資材	0.00	0.0	0.0
		食品容器	0.00	0.0	0.0
		ガラス、陶器の破片	0.04	100.0	0.0
		食品以外容器	0.00	0.0	0.0
		コップ、食器	0.00	0.0	0.0
		電球	0.00	0.0	0.0
		蛍光管	0.00	0.0	0.0
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載()	0.00	0.0	0.0
		その他	0.00	0.0	0.0
		小計	0.04	100.0	0.0
	ガラス、陶器 合計	0.04	100.0	0.0	
金属	金属	ビンのふた、キャップ、プルタブ	0.00	0.0	0.0
		アルミの飲料缶	0.04	12.9	0.0
		スチール製飲料用缶	0.00	0.0	0.0
		金属製コップ、食器	0.00	0.0	0.0
		フォーク・ナイフ・スプーン等	0.00	0.0	0.0
		その他の缶(ガスボンベ、ドラム缶、バケツ等)	0.00	0.0	0.0
		金属片	0.02	6.5	0.0
		ワイヤー、針金	0.00	0.0	0.0
		金属製漁具	0.00	0.0	0.0
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載()	0.00	0.0	0.0
		その他	0.25	80.6	0.0
		小計	0.31	100.0	0.0
			金属 合計	0.31	100.0
紙、ダンボール	紙、ダンボール	紙製コップ、食器	0.00	0.0	0.0
		タバコのパッケージ(フィルム、銀紙を含む)	0.00	0.0	0.0
		花火	0.00	0.0	0.0
		紙袋	0.00	0.0	0.0
		食品包装材	0.00	0.0	0.0
		紙製容器(飲料用紙パック等)	0.00	0.0	0.0
		紙片(段ボール、新聞紙等を含む)	0.10	100.0	0.0
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載()	0.00	0.0	0.0
		その他	0.00	0.0	0.0
		小計	0.10	100.0	0.0
	紙、ダンボール 合計	0.10	100.0	0.0	
天然繊維、革	天然繊維、革	ロープ、ひも	0.00	0.0	0.0
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載()	0.00	0.0	0.0
		その他	0.00	0.0	0.0
小計	0.00	0.0	0.0		
	天然繊維、革 合計	0.00	0.0	0.0	
木(木材等)	木(木材等)	木材(物流用パレット、木炭等含む)	36.66	100.0	5.0
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載()	0.00	0.0	0.0
		その他	0.00	0.0	0.0
小計	36.66	100.0	5.0		
	木(木材等) 合計	36.66	100.0	5.0	
電化製品、電子機器	電化製品、電子機器	電化製品、電子機器	0.00	0.0	0.0
		小計	0.00	0.0	0.0
	電化製品、電子機器 合計	0.00	0.0	0.0	
自然物	自然物	灌木(植物片を含む、径10cm未満、長さ1m未満)	574.34	82.5	77.6
		流木(径10cm以上、長さ1m以上)	122.20	17.5	16.5
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載()	0.00	0.0	0.0
		その他	0.00	0.0	0.0
小計	696.54	100.0	94.1		
	自然物 合計	696.54	100.0	94.1	
その他	その他	その他1()	0.00	0.0	0.0
		その他2()	0.00	0.0	0.0
		その他3()	0.00	0.0	0.0
		小計	0.00	0.0	0.0
	その他 合計	0.00	0.0	0.0	
人力で動かせない物	緯度: 経度:	ごみの種類()	0.00	0.0	0.0
		小計	0.00	0.0	0.0
	その他 合計	0.00	0.0	0.0	
総計			740.08	100.0	100.0

3.1.4 海岸漂着物の分類結果

3.1.4.1 大分類別組成比

大分類別に分類した組成比（個数・容量・重量）について、集計した結果を表 3.1.4.1 及び図 3.1.4.1-1～3 に示した。

大分類別の個数についてみると、全個数のうちプラスチックの数が最も多く 205 個、51.9%を占め、次いで自然物が 156 個、39.5%、木（木材等）が 30 個、7.6%と続いている。

大分類別の容量についてみると、全容量のうち自然物の量が最も大きく 4,104L、94.2%を占め、次いで木（木材等）が 216L、5.0%と続いている。

大分類別の重量についてみると、全重量のうち自然物の量が最も重く 696.54kg、94.1%を占め、次いで木（木材等）が 36.66kg、5.0%を占めている。

表 3.1.4.1 布引海岸における大分類別の集計結果

	個数		容量		重量		
	個	%	L	%	kg	%	
人工物	プラスチック	205	51.9	35.2	0.8	5.87	0.8
	発泡スチロール	0	0.0	0.5	0.0	0.04	0.0
	ゴム	1	0.3	1	0.0	0.52	0.1
	ガラス、陶器	0	0.0	0.1	0.0	0.04	0.0
	金属	3	0.8	0.8	0.0	0.31	0.0
	紙、ダンボール	0	0.0	0.5	0.0	0.1	0.0
	天然繊維、革	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	木（木材等）	30	7.6	216	5.0	36.66	5.0
	電化製品、電子機器	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	自然物	156	39.5	4104	94.2	696.54	94.1
	その他	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	人力で動かさない物	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	総計	395	100.0	4358.1	100.0	740.08	100.0

※人力で動かさない物は全て流木のため、人工物には含めていない。

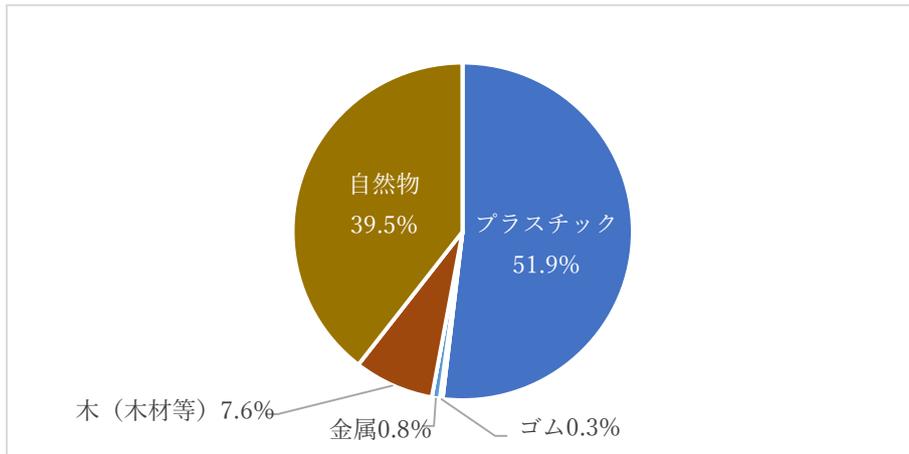


図 3.1.4.1-1 布引海岸における大分類別組成比 (個数)

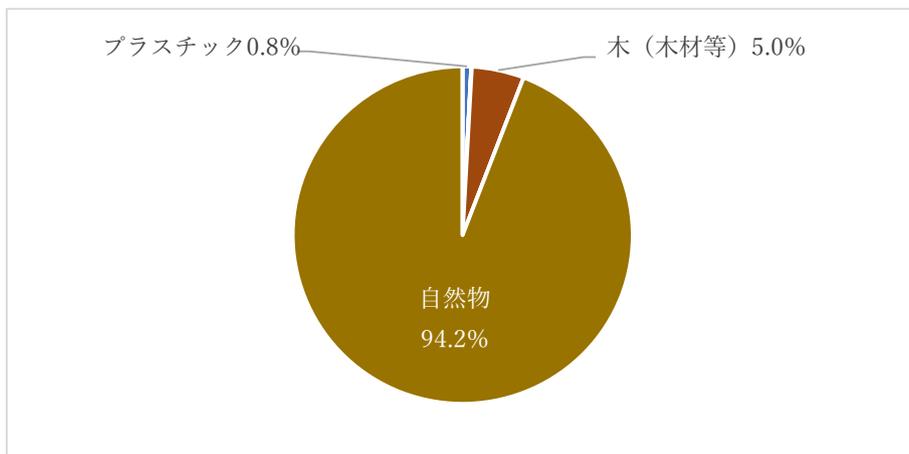


図 3.1.4.1-2 布引海岸における大分類別組成比 (容量)

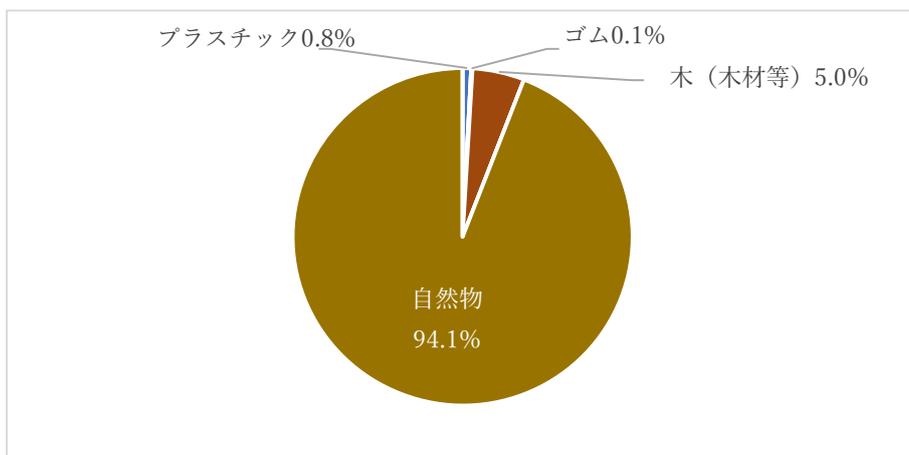


図 3.1.4.1-3 布引海岸における大分類別組成比 (重量)

人工物のみの個数、容量、重量についての組成比について、図 3.1.4.1-4～3.1.4.1-6 に示した。

個数においては、プラスチックが 85.8%、次いで木（木材等）が 12.6%であった。容量においては、木（木材等）が 85.0%、次いでプラスチックが 13.9%であった。重量においては、木（木材等）が 84.2%、次いでプラスチックが 13.5%であった。

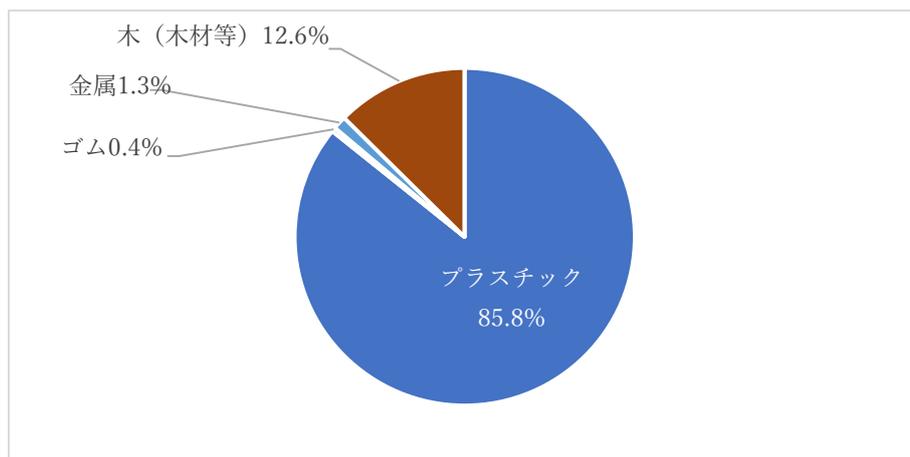


図 3.1.4.1-4 布引海岸における人工物 大分類別組成比（個数）

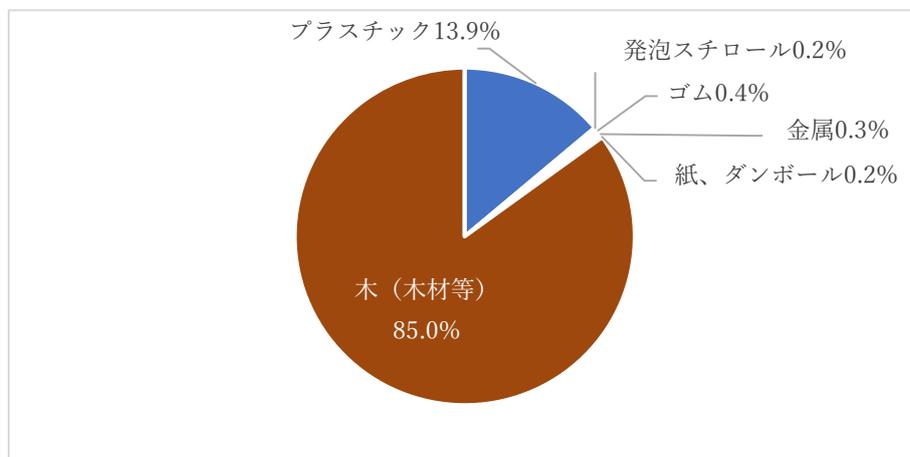


図 3.1.4.1-5 布引海岸における人工物 大分類別組成比（容量）

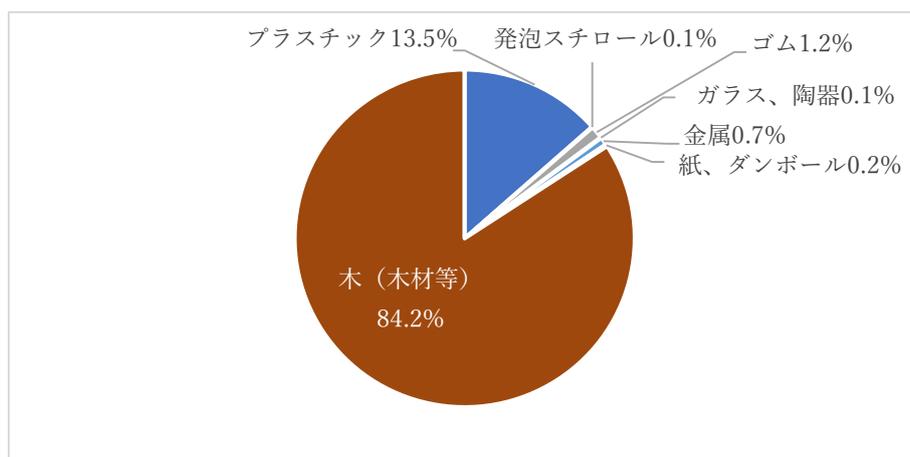


図 3.1.4.1-6 布引海岸における人工物 大分類別組成比 (重量)

3.1.4.2 3分類による組成比

3分類（自然物、海域由来、人工物）別に分類した組成比（個数・容量・重量）を表 3.1.4.2 及び図 3.1.4.2 に示した。なお、海域由来とは、図 2.2.2-1 分類表のプラスチック類のうち漁具（浮子、漁網等）や釣具（釣りのルアー、浮き等）などに分類されるものを指す。また、ここでいう人工物とは、海域由来の人工物を除いた集計値である。また、自然物の個数とは流木と人力で動かさない物（流木）の値である。

3分類別の個数についてみると、人工物が 181 個、45.8%、自然物が 156 個、39.5%、海域由来が 58 個、14.7%であった。

3分類別の容量についてみると、自然物が 4,104L、94.2%、人工物が 232.1L、5.3%、海域由来が 22L、0.5%であった。

3分類別の重量についてみると、自然物が 696.54kg、94.1%、人工物が 38.81kg、5.2%、海域由来が 4.73kg、0.6%であった。

表 3.1.4.2 布引海岸における 3 分類別の集計結果

	個数		容量		重量	
	個	%	L	%	kg	%
自然物	156	39.5	4104	94.2	696.54	94.1
海域由来	58	14.7	22	0.5	4.73	0.6
人工物	181	45.8	232.1	5.3	38.81	5.2
総計	395	100.0	4358.1	100.0	740.08	100.0

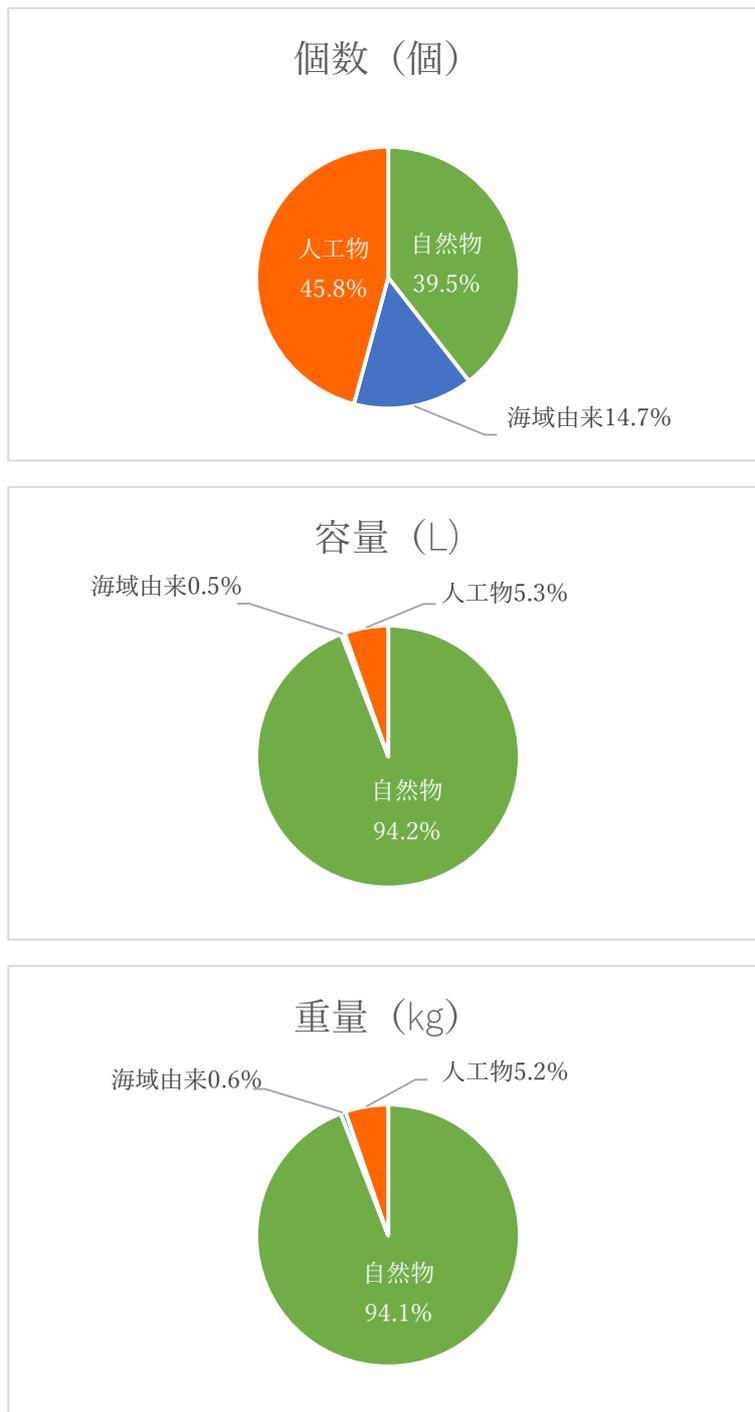


図 3.1.4.2 布引海岸における 3 分類別組成比 (上 : 個数、中 : 容量、下 : 重量)

3.1.4.3 国別組成比

ペットボトル、ペットボトルのキャップ、漁業用の浮子について言語表記調査により分類した組成比（個数）について、集計した結果をペットボトルについては図 3.1.4.3-1、ペットボトルのキャップについては図 3.1.4.3-2、漁業用の浮子については図 3.1.4.3-3 に示した。

ペットボトルの国別組成比をみると、日本が 1 個、50%、不明が 1 個、50%であった。

ペットボトルのキャップの国別組成比をみると、不明が 11 個、61%、日本が 6 個、33%、中国・台湾が 1 個、6%であった。

漁業用の浮子の国別組成比をみると、不明が 1 個、100%であった。

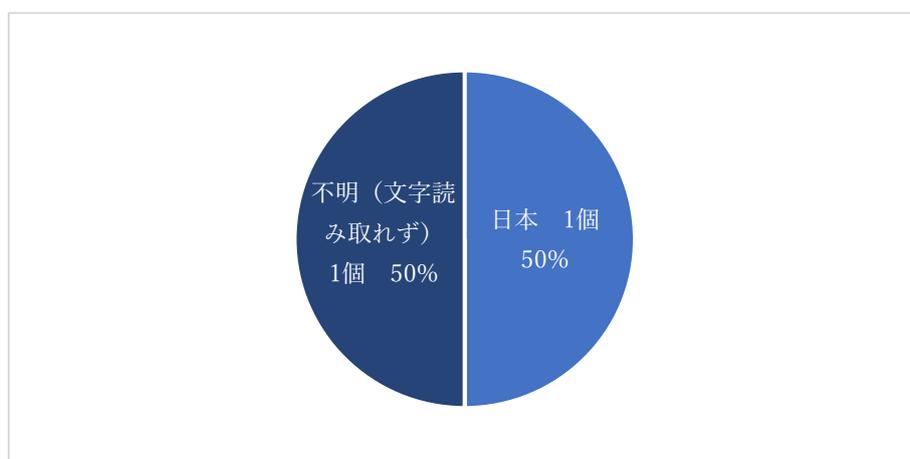


図 3.1.4.3-1 ペットボトルの国別組成比（個数）

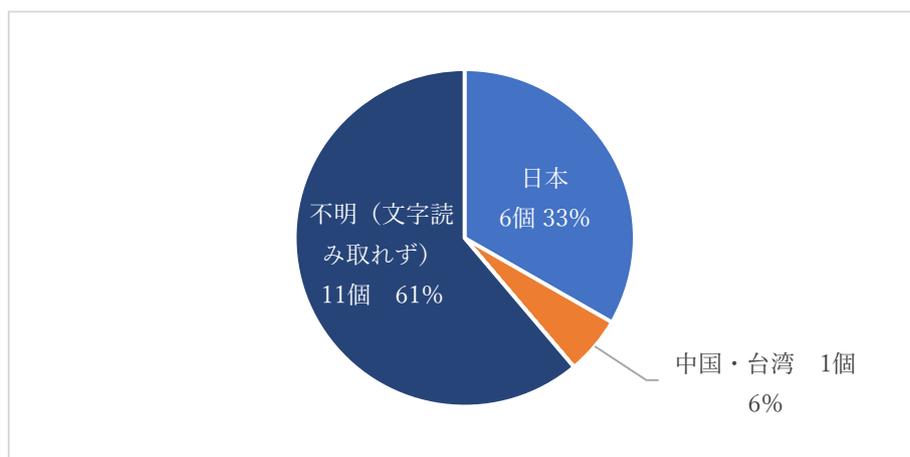


図 3.1.4.3-2 ペットボトルのキャップの国別組成比（個数）

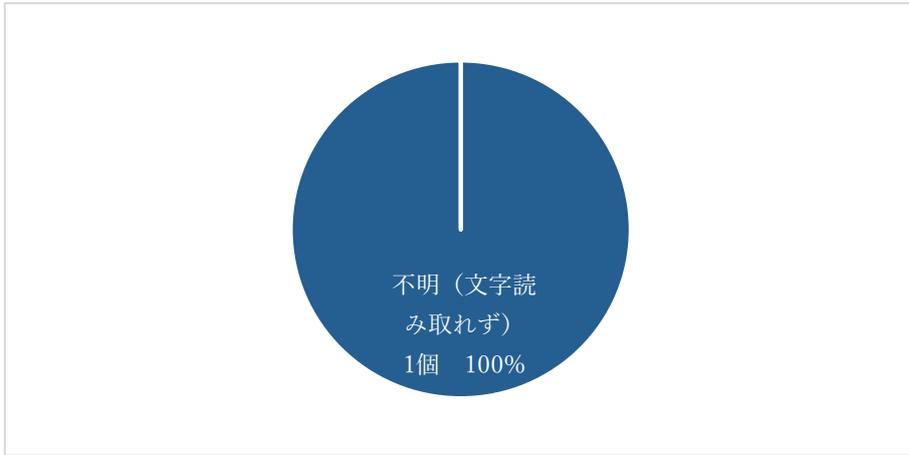


図 3.1.4.3-3 漁業用浮子の国別組成比（個数）

3.1.5 布引海岸における漂着物の傾向と特徴

3.1.4 において調査結果について各分類における組成比を示した。結果、布引海岸の個数では人工物（海域由来を含む）がおよそ 60.5%という結果であった。一方、容量及び重量では自然物がそれぞれ 94.2%、94.1%を占める結果となり、自然物が顕著に多くみられた。

人工物の組成では、木（木材等）を除くと、プラスチックが個数、容量、重量ともにほとんどを占める傾向が見られたことから、プラスチックごみの内訳について分析を行い傾向と特徴について検討した。プラスチック及び発泡スチロールの内訳について「表 3.1.3-1 海岸漂着物の調査結果（個数）」をもとに個数の多い項目順に並べ替えてプラ分類別に色分けしたグラフ及びプラ分類の組成比を示した円グラフを図 3.1.5-1 に、「表 3.1.3-3 海岸漂着物の調査結果（重量）」をもとに個数の多い項目順に並べ替えてプラ分類別に色分けしたグラフ及びプラ分類の組成比を示した円グラフを図 3.1.5-2 に示す。なお、プラ分類とは、プラスチックの用途別に分類したもので「分類表」（図 2.2.2-1）に記載のプラ分類の項目をもとに分類したものである。

プラスチックごみのうち、最も個数が多いものはボトルのキャップ、ふた 38 個で、次にロープ、ひも（漁具） 36 個、食品の容器包装 28 個と続く結果であった。最も重量が重いものはロープ、ひも（漁具） 17.4kg であった。

なお、言語表記等調査では、回収された 2 個のペットボトルのうち、海外の言語と判別できたものはなく、日本語で表記されたものは 1 個だった。回収された 18 個のペットボトルのキャップのうち、海外の言語と判別できたものは 1 個であり、日本語で表記されたものは 6 個だった。回収された 1 個の漁業用の浮子は、文字が読み取れなかったため、判別できなかった。いずれも千葉県内で発生したものなのか、県外から潮流の影響により到達したごみなのかどうかの判別は困難であった。

本年度の布引海岸（富津市）の海岸漂着物の特徴としては、個数においては人工物が多く、容量、重量においては自然物が多くを占めた。また、人工物の中ではプラスチックが多く、個数においてはボトルのキャップ、ふたをはじめプラスチック素材の容器包装が多く、重量においてはロープ、ひも（漁具）をはじめプラスチック素材の海域由来が多く見られた。

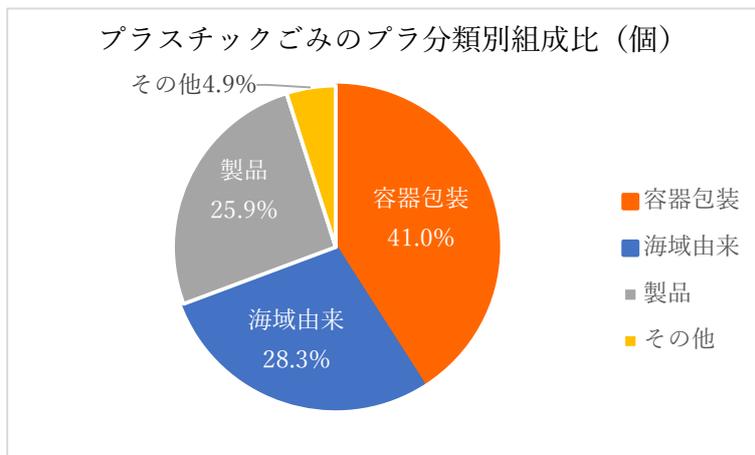
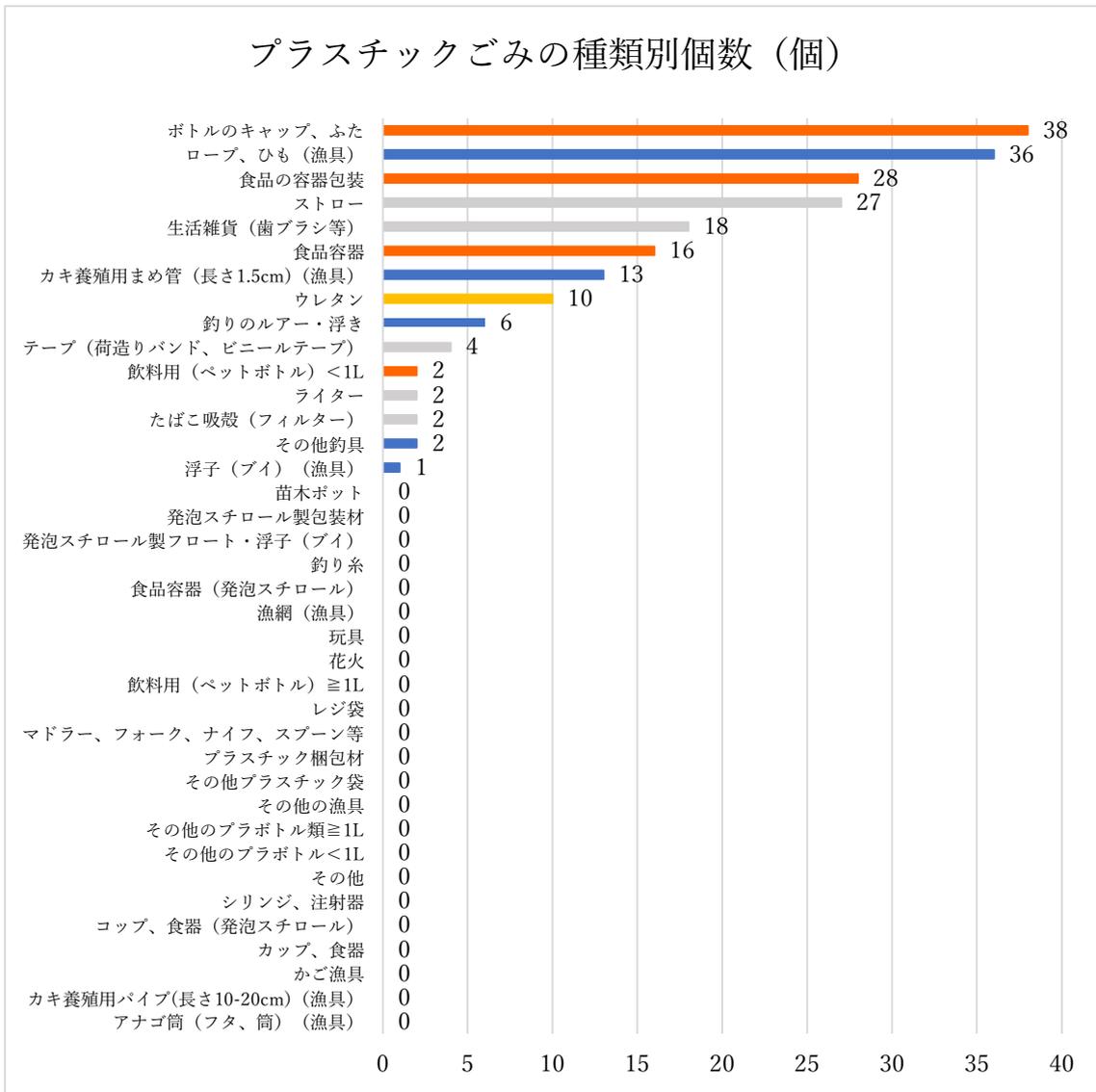
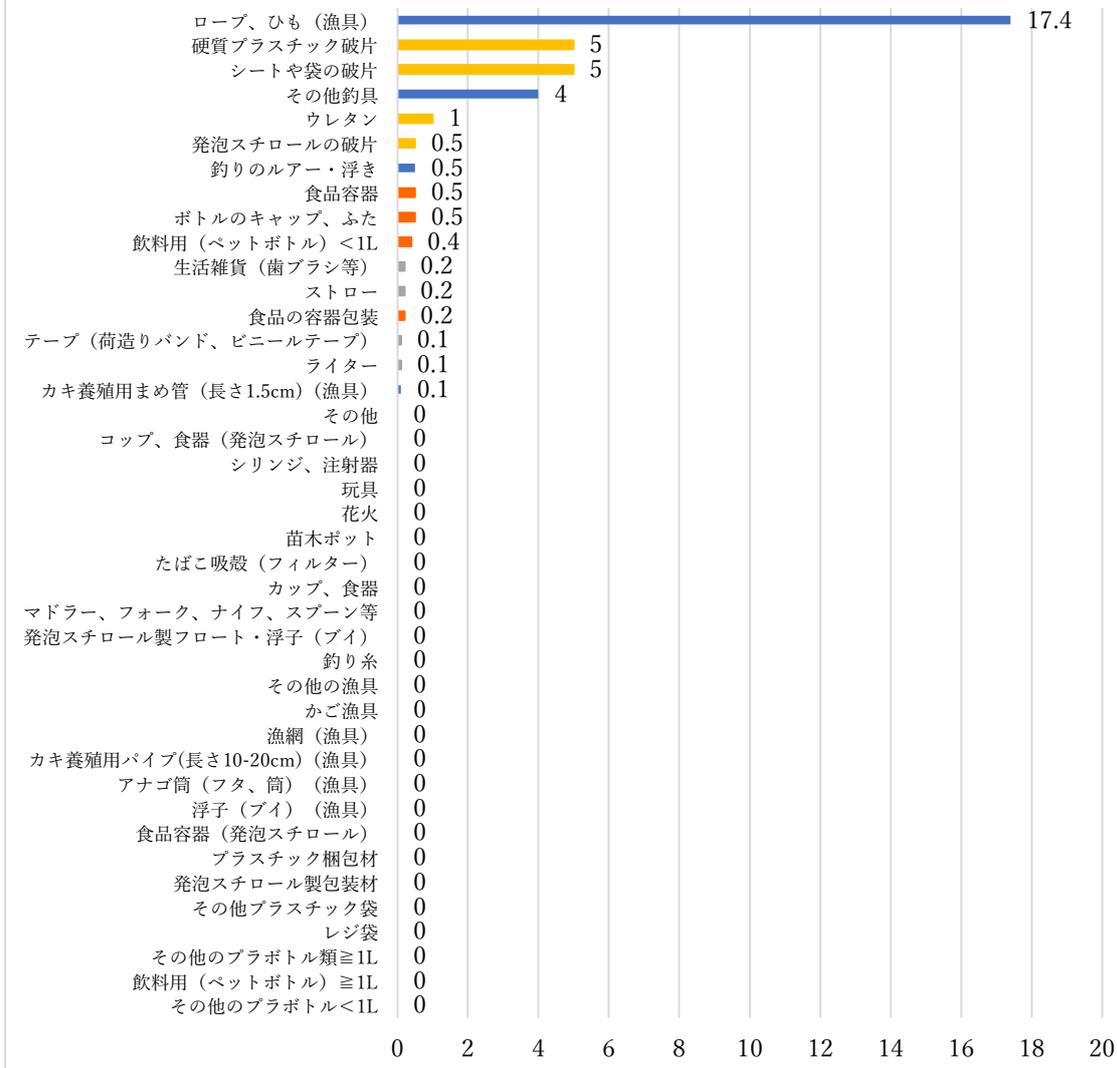


図 3.1.5-1 上段：プラスチックごみの種類別プラ分類別個数（個）
 下段：プラスチックごみのプラ分類別組成比 個数（個）

プラスチックごみの種類別重量 (kg)



プラスチックごみのプラ分類別組成比 (kg)

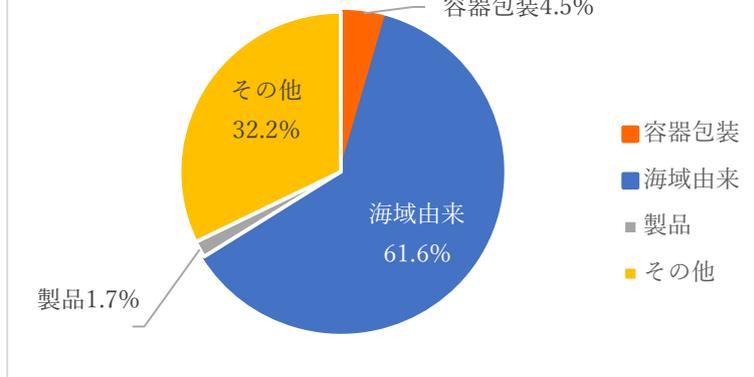


図 3.1.5-2 上段：プラスチックごみの種類別プラ分類別重量 (kg)

下段：プラスチックごみのプラ分類別組成比 重量 (kg)

3.2 九十九里海岸・中谷里調査結果（旭市）

3.2.1 調査地点

九十九里海岸・中谷里（旭市）における調査区画を図 3.2.1 に示す。



図 3.2.1 旭市九十九里海岸・中谷里調査区画全体図

3.2.2 調査前後の写真

九十九里海岸・中谷里における海岸漂着物の回収前後の写真を写真3.2.2-1に示す。

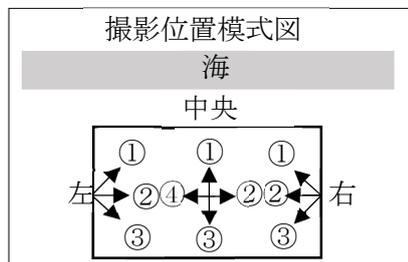


写真3.2.2(1) 海岸漂着物の回収前後の写真
(九十九里海岸・中谷里：令和6年11月19日)

	回収前	回収後
左 ①		
左 ②		
左 ③		

写真 3.2.2 (2) 海岸漂着物の回収前後の写真
 (九十九里海岸・中谷里：令和 6 年 11 月 19 日)

	回収前	回収後
中央①	 A wide shot of a beach with waves breaking in the distance. The sand is dark and scattered with small pieces of debris. A date stamp '2024/11/19' is visible in the bottom right corner.	 The same wide shot of the beach after cleanup. The sand is cleaner, and the debris has been removed. The date stamp '2024/11/19' is visible in the bottom right corner.
中央②	 A close-up view of the sandy beach with scattered debris. A date stamp '2024/11/19' is visible in the bottom right corner.	 A close-up view of the sandy beach after cleanup, showing a much cleaner surface. The date stamp '2024/11/19' is visible in the bottom right corner.
中央③	 A person is seen from behind, standing on the beach. The ground is covered with debris. A date stamp '2024/11/19' is visible in the bottom right corner.	 The same person is seen from behind, standing on the beach. The ground is now clean. The date stamp '2024/11/19' is visible in the bottom right corner.
中央④	 A wide view of the beach with debris scattered across the sand. A date stamp '2024/11/19' is visible in the bottom right corner.	 A wide view of the beach after cleanup, showing a clean and clear surface. The date stamp '2024/11/19' is visible in the bottom right corner.

写真 3.2.2 (3) 海岸漂着物の回収前後の写真
 (九十九里海岸・中谷里：令和 6 年 11 月 19 日)

	回収前	回収後
右 ①		
右 ②		
右 ③		

3.2.3 海岸漂着物の調査結果

本調査により回収した海岸漂着物の例を写真 3.2.3 に示す。

また、回収した海岸漂着物の調査結果について、個数の結果を表 3.2.3-1 に、容量の結果を表 3.2.3-2 に、重量の結果を表 3.2.3-3 に示す。各表では、計測した値のほかに、各オプション項目の分類について、その分類が属する大分類の合計に占める割合及び回収物の総計に占める割合を併記した。その際、小数点第二位を四捨五入したため、端数処理の関係で合計値が一致しないことがある。

写真 3.2.3 海岸漂着物の例

		
<p>プラスチック類 (飲料用(ペットボトル)< 1L)</p>	<p>プラスチック類 (ストロー)</p>	<p>プラスチック類 (シートや袋の破片)</p>
		
<p>プラスチック類 (ポリ袋 (食品の容器包装))</p>	<p>プラスチック類 (ロープ、ひも (漁具))</p>	<p>ガラス、陶器 (アルミの飲料缶)</p>

表 3.2.3-1 (1) 海岸漂着物の集計結果 (個数)

大分類	必須項目	オプション項目	個数(個)	各大分類の合計個数に占める割合(%)	
				個数の総計に占める割合(%)	個数の総計に占める割合(%)
プラスチック	ボトルのキャップ、ふた	ボトルのキャップ、ふた	4	3.1	2.6
		小計	4	3.1	2.6
	ボトル	飲料用(ペットボトル)<1L	21	16.2	13.5
		その他のプラボトル<1L	0	0.0	0.0
		飲料用(ペットボトル)≥1L	5	3.8	3.2
		その他のプラボトル類≥1L	1	0.8	0.6
		小計	27	20.8	17.4
	ストロー	ストロー	11	8.5	7.1
	小計	11	8.5	7.1	
	マドラー、フォーク、ナイフ、スプーン等	マドラー、フォーク、ナイフ、スプーン等	1	0.8	0.6
	小計	1	0.8	0.6	
	食品容器(ファーストフード、コップ、ランチボックス、それに類するもの)	カップ、食器	0	0.0	0.0
		食品容器	18	13.8	11.6
		小計	18	13.8	11.6
	ポリ袋(不透明、透明)	食品の容器包装	23	17.7	14.8
		レジ袋	1	0.8	0.6
		その他プラスチック袋	0	0.0	0.0
	小計	24	18.5	15.5	
	ライター	ライター	1	0.8	0.6
	小計	1	0.8	0.6	
	テープ(荷造りバンド、ビニールテープ)	テープ(荷造りバンド、ビニールテープ)	3	2.3	1.9
	小計	3	2.3	1.9	
	シートや袋の破片	シートや袋の破片			
	小計				
	硬質プラスチック破片	硬質プラスチック破片			
	小計				
	ウレタン	ウレタン	1	0.8	0.6
	小計	1	0.8	0.6	
	ブイ(漁具)	浮子(ブイ)(漁具)	2	1.5	1.3
	小計	2	1.5	1.3	
	ロープ、ひも(漁具)	ロープ、ひも(漁具)	31	23.8	20.0
	小計	31	23.8	20.0	
	アナゴ筒(フタ、筒)(漁具)	アナゴ筒(フタ、筒)(漁具)	0	0.0	0.0
	小計	0	0.0	0.0	
	カキ養殖用まめ管(長さ1.5cm)(漁具)	カキ養殖用まめ管(長さ1.5cm)(漁具)	1	0.8	0.6
	小計	1	0.8	0.6	
	カキ養殖用パイプ(長さ10-20cm)(漁具)	カキ養殖用パイプ(長さ10-20cm)(漁具)	0	0.0	0.0
	小計	0	0.0	0.0	
	漁網(漁具)	漁網(漁具)	4	3.1	2.6
	小計	4	3.1	2.6	
その他の漁具(漁具)	かご漁具	0	0.0	0.0	
	その他の漁具	1	0.8	0.6	
小計	1	0.8	0.6		
釣具	釣りのルアー・浮き	0	0.0	0.0	
	釣り糸	0	0.0	0.0	
	その他の釣具	0	0.0	0.0	
小計	0	0.0	0.0		
たばこ吸殻(フィルター)	たばこ吸殻(フィルター)	0	0.0	0.0	
小計	0	0.0	0.0		
生活雑貨(歯ブラシ等)	生活雑貨(歯ブラシ等)	1	0.8	0.6	
小計	1	0.8	0.6		
苗木ポット	苗木ポット	0	0.0	0.0	
小計	0	0.0	0.0		
その他	花火	0	0.0	0.0	
	玩具	0	0.0	0.0	
	プラスチック梱包材	0	0.0	0.0	
	シリンジ・注射器	0	0.0	0.0	
	分類に無いもので多数見つかった場合には記載()	0	0.0	0.0	
	その他	0	0.0	0.0	
小計	0	0.0	0.0		
プラスチック 合計			130	100.0	83.9
(発泡スチロール)	コップ、食品容器	食品容器(発泡スチロール)	5	100.0	3.2
		コップ、食器(発泡スチロール)	0	0.0	0.0
	小計	5	100.0	3.2	
	発泡スチロール製フロート、ブイ	発泡スチロール製フロート・浮子(ブイ)	0	0.0	0.0
	小計	0	0.0	0.0	
	発泡スチロールの破片	発泡スチロールの破片			
	小計				
発泡スチロール製包装材	発泡スチロール製包装材	0	0.0	0.0	
小計	0	0.0	0.0		
その他	分類に無いもので多数見つかった場合には記載()	0	0.0	0.0	
	その他	0	0.0	0.0	
小計	0	0.0	0.0		
発泡スチロール 合計			5	100.0	3.2

表 3.2.3-1 (2) 海岸漂着物の集計結果 (個数)

大分類	必須項目	オプション項目	個数(個)	各大大分類の合計個数に占める割合(%)	
				個数の総計に占める割合(%)	
ゴム	ゴム	タイヤ	0	0.0	0.0
		玩具、ボール	0	0.0	0.0
		風船	0	0.0	0.0
		靴(サンダル、靴底含む)	0	0.0	0.0
		ゴムの破片			
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載()	0	0.0	0.0
		その他	0	0.0	0.0
		小計	0	0.0	0.0
	ゴム 合計	0	0.0	0.0	
ガラス、陶器	ガラス、陶器	建築資材	0	0.0	0.0
		食品容器	0	0.0	0.0
		ガラス、陶器の破片			
		食品以外容器	0	0.0	0.0
		コップ、食器	0	0.0	0.0
		電球	0	0.0	0.0
		蛍光管	0	0.0	0.0
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載()	0	0.0	0.0
		その他	0	0.0	0.0
		小計	0	0.0	0.0
			ガラス、陶器 合計	0	0.0
金属	金属	ビンのふた、キャップ、プルタブ	1	8.3	0.6
		アルミの飲料缶	10	83.3	6.5
		スチール製飲料用缶	0	0.0	0.0
		金属製コップ、食器	0	0.0	0.0
		フォーク・ナイフ・スプーン等	0	0.0	0.0
		その他の缶(ガスボンベ、ドラム缶、バケツ等)	1	8.3	0.6
		金属片			
		ワイヤー、針金	0	0.0	0.0
		金属製漁具	0	0.0	0.0
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載()	0	0.0	0.0
		その他	0	0.0	0.0
		小計	12	100.0	7.7
			金属 合計	12	100.0
紙、ダンボール	紙、ダンボール	紙製コップ、食器	0	0.0	0.0
		タバコのパッケージ(フィルム、銀紙を含む)	0	0.0	0.0
		花火	0	0.0	0.0
		紙袋	0	0.0	0.0
		食品包装材	0	0.0	0.0
		紙製容器(飲料用紙パック等)	0	0.0	0.0
		紙片(段ボール、新聞紙等を含む)			
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載()	0	0.0	0.0
		その他	0	0.0	0.0
		小計	0	0.0	0.0
			紙、ダンボール 合計	0	0.0
天然繊維、革	天然繊維、革	ロープ、ひも	0	0.0	0.0
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載()	0	0.0	0.0
		その他	1	100.0	0.6
小計	1	100.0	0.6		
	天然繊維、革 合計	1	100.0	0.6	
木(木材等)	木(木材等)	木材(物流用パレット、木炭等含む)	4	100.0	2.6
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載()	0	0.0	0.0
		その他	0	0.0	0.0
小計	4	100.0	2.6		
	木(木材等) 合計	4	100.0	2.6	
電化製品、電子機器	電化製品、電子機器	電化製品、電子機器	0	0.0	0.0
		小計	0	0.0	0.0
	電化製品、電子機器 合計	0	0.0	0.0	
自然物	自然物	灌木(植物片を含む、径10cm未満、長さ1m未満)			
		流木(径10cm以上、長さ1m以上)	3	100.0	1.9
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載()	0	0.0	0.0
		その他	0	0.0	0.0
小計	3	100.0	1.9		
	自然物 合計	3	100.0	1.9	
その他	その他	その他1()	0	0.0	0.0
		その他2()	0	0.0	0.0
		その他3()	0	0.0	0.0
		小計	0	0.0	0.0
	その他 合計	0	0.0	0.0	
人力で動かせない物	緯度: 経度:	ごみの種類()	0	0.0	0.0
		小計	0	0.0	0.0
	その他 合計	0	0.0	0.0	
総計			155		100.0

表 3.2.3-2 (1) 海岸漂着物の集計結果 (容量)

大分類	必須項目	オプション項目	容積 (L)	容積の総計に占める割合 (%)		
				各大分類の合計容積に占める割合 (%)	容積の総計に占める割合 (%)	
プラスチック	ボトルのキャップ、ふた	ボトルのキャップ、ふた	0.1	0.1	0.0	
		小計	0.1	0.1	0.0	
	ボトル	飲料用(ペットボトル) < 1L		17.4	19.4	7.8
		その他のプラボトル < 1L		0.0	0.0	0.0
		飲料用(ペットボトル) ≥ 1L		17.4	19.4	7.8
		その他のプラボトル類 ≥ 1L		5.0	5.6	2.2
		小計	39.8	44.4	17.9	
	ストロー	ストロー	0.4	0.4	0.2	
		小計	0.4	0.4	0.2	
	マドラー、フォーク、ナイフ、スプーン等	マドラー、フォーク、ナイフ、スプーン等	0.0	0.0	0.0	
		小計	0.0	0.0	0.0	
	食品容器(ファーストフード、コップ、ランチボックス、それに類するもの)	カップ、食器		0.0	0.0	0.0
		食品容器		4.0	4.5	1.8
		小計	4.0	4.5	1.8	
	ポリ袋(不透明、透明)	食品の容器包装		11.6	12.9	5.2
		レジ袋		1.0	1.1	0.4
		その他プラスチック袋		0.0	0.0	0.0
		小計	12.6	14.1	5.7	
	ライター	ライター	0.1	0.1	0.0	
		小計	0.1	0.1	0.0	
	テープ(荷造りバンド、ビニールテープ)	テープ(荷造りバンド、ビニールテープ)	0.3	0.3	0.1	
		小計	0.3	0.3	0.1	
	シートや袋の破片	シートや袋の破片	17.4	19.4	7.8	
		小計	17.4	19.4	7.8	
	硬質プラスチック破片	硬質プラスチック破片	7.0	7.8	3.1	
		小計	7.0	7.8	3.1	
	ウレタン	ウレタン	0.5	0.6	0.2	
		小計	0.5	0.6	0.2	
	ブイ(漁具)	浮子(ブイ)(漁具)	0.3	0.3	0.1	
		小計	0.3	0.3	0.1	
	ロープ、ひも(漁具)	ロープ、ひも(漁具)	6.0	6.7	2.7	
		小計	6.0	6.7	2.7	
	アナゴ筒(フタ、筒)(漁具)	アナゴ筒(フタ、筒)(漁具)	0.0	0.0	0.0	
		小計	0.0	0.0	0.0	
	カキ養殖用まめ管(長さ1.5cm)(漁具)	カキ養殖用まめ管(長さ1.5cm)(漁具)	0.0	0.0	0.0	
		小計	0.0	0.0	0.0	
	カキ養殖用パイプ(長さ10-20cm)(漁具)	カキ養殖用パイプ(長さ10-20cm)(漁具)	0.0	0.0	0.0	
		小計	0.0	0.0	0.0	
	漁網(漁具)	漁網(漁具)	1.0	1.1	0.4	
		小計	1.0	1.1	0.4	
	その他の漁具(漁具)	かご漁具	0.0	0.0	0.0	
		その他の漁具	0.1	0.1	0.0	
		小計	0.1	0.1	0.0	
釣具	釣りのルアー・浮き		0.0	0.0	0.0	
	釣り糸		0.0	0.0	0.0	
	その他の釣具		0.0	0.0	0.0	
	小計	0.0	0.0	0.0		
たばこ吸殻(フィルター)	たばこ吸殻(フィルター)	0.0	0.0	0.0		
	小計	0.0	0.0	0.0		
生活雑貨(歯ブラシ等)	生活雑貨(歯ブラシ等)	0.0	0.0	0.0		
	小計	0.0	0.0	0.0		
苗木ポット	苗木ポット	0.0	0.0	0.0		
	小計	0.0	0.0	0.0		
その他	花火		0.0	0.0	0.0	
	玩具		0.0	0.0	0.0	
	プラスチック梱包材		0.0	0.0	0.0	
	シリンジ・注射器		0.0	0.0	0.0	
	分類に無いもので多数見つかった場合には記載()		0.0	0.0	0.0	
	その他		0.0	0.0	0.0	
	小計	0.0	0.0	0.0		
	プラスチック 合計	89.6	100.0	40.3		
(発泡スチロール)	コップ、食品容器	食品容器(発泡スチロール)	3.0	100.0	1.3	
		コップ、食器(発泡スチロール)	0.0	0.0	0.0	
		小計	3.0	100.0	1.3	
	発泡スチロール製フロート、ブイ	発泡スチロール製フロート・浮子(ブイ)	0.0	0.0	0.0	
		小計	0.0	0.0	0.0	
	発泡スチロールの破片	発泡スチロールの破片	0.0	0.0	0.0	
		小計	0.0	0.0	0.0	
発泡スチロール製包装材	発泡スチロール製包装材	0.0	0.0	0.0		
	小計	0.0	0.0	0.0		
その他	分類に無いもので多数見つかった場合には記載()		0.0	0.0	0.0	
	その他		0.0	0.0	0.0	
	小計	0.0	0.0	0.0		
	発泡スチロール 合計	3.0	100.0	1.3		

表 3.2.3-2 (2) 海岸漂着物の集計結果 (容量)

大分類	必須項目	オプション項目	容積 (L)	容積の総計に占める割合 (%)	
				各大分類の合計容積に占める割合 (%)	容積の総計に占める割合 (%)
ゴム	ゴム	タイヤ	0.0	0.0	0.0
		玩具、ボール	0.0	0.0	0.0
		風船	0.0	0.0	0.0
		靴(サンダル、靴底含む)	0.0	0.0	0.0
		ゴムの破片	0.0	0.0	0.0
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載()	0.0	0.0	0.0
		その他	0.0	0.0	0.0
		小計	0.0	0.0	0.0
		ゴム 合計	0.0	0.0	0.0
ガラス、陶器	ガラス、陶器	建築資材	0.0	0.0	0.0
		食品容器	0.0	0.0	0.0
		ガラス、陶器の破片	0.0	0.0	0.0
		食品以外容器	0.0	0.0	0.0
		コップ、食器	0.0	0.0	0.0
		電球	0.0	0.0	0.0
		蛍光管	0.0	0.0	0.0
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載()	0.0	0.0	0.0
		その他	0.0	0.0	0.0
		小計	0.0	0.0	0.0
		ガラス、陶器 合計	0.0	0.0	0.0
金属	金属	ビンのふた、キャップ、プルタブ	0.0	0.0	0.0
		アルミの飲料缶	3.0	90.9	1.3
		スチール製飲料用缶	0.0	0.0	0.0
		金属製コップ、食器	0.0	0.0	0.0
		フォーク・ナイフ・スプーン等	0.0	0.0	0.0
		その他の缶(ガスボンベ、ドラム缶、バケツ等)	0.3	9.1	0.1
		金属片	0.0	0.0	0.0
		ワイヤー、針金	0.0	0.0	0.0
		金属製漁具	0.0	0.0	0.0
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載()	0.0	0.0	0.0
		その他	0.0	0.0	0.0
		小計	3.3	100.0	1.5
				金属 合計	3.3
紙、ダンボール	紙、ダンボール	紙製コップ、食器	0.0	0.0	0.0
		タバコのパッケージ(フィルム、銀紙を含む)	0.0	0.0	0.0
		花火	0.0	0.0	0.0
		紙袋	0.0	0.0	0.0
		食品包装材	0.0	0.0	0.0
		紙製容器(飲料用紙パック等)	0.0	0.0	0.0
		紙片(段ボール、新聞紙等を含む)	5.0	100.0	2.2
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載()	0.0	0.0	0.0
		その他	0.0	0.0	0.0
		小計	5.0	100.0	2.2
				紙、ダンボール 合計	5.0
天然繊維、革	天然繊維、革	ロープ、ひも	0.0	0.0	0.0
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載()	0.0	0.0	0.0
		その他	0.4	100.0	0.2
小計	0.4	100.0	0.2		
		天然繊維、革 合計	0.4	100.0	0.2
木(木材等)	木(木材等)	木材(物流用パレット、木炭等含む)	11.0	100.0	4.9
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載()	0.0	0.0	0.0
		その他	0.0	0.0	0.0
小計	11.0	100.0	4.9		
		木(木材等) 合計	11.0	100.0	4.9
電化製品、電子機器	電化製品、電子機器	電化製品、電子機器	0.0	0.0	0.0
		小計	0.0	0.0	0.0
		電化製品、電子機器 合計	0.0	0.0	0.0
自然物	自然物	灌木(植物片を含む、径10cm未満、長さ1m未満)	72.0	65.5	32.4
		流木(径10cm以上、長さ1m以上)	38.0	34.5	17.1
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載()	0.0	0.0	0.0
		その他	0.0	0.0	0.0
小計	110.0	100.0	49.5		
		自然物 合計	110.0	100.0	49.5
その他	その他	その他1()	0.0	0.0	0.0
		その他2()	0.0	0.0	0.0
		その他3()	0.0	0.0	0.0
		小計	0.0	0.0	0.0
		その他 合計	0.0	0.0	0.0
人力で動かせない物	緯度: 経度:	ごみの種類()	0.0	0.0	0.0
		小計	0.0	0.0	0.0
		その他 合計	0.0	0.0	0.0
総計			222.3	100.0	100.0

表 3.2.3-3 (1) 海岸漂着物の集計結果 (重量)

大分類	必須項目	オプション項目	重量 (kg)	重量の総計に占める割合 (%)		
				各大分類の合計重量に占める割合 (%)	重量の総計に占める割合 (%)	
プラスチック	ボトルのキャップ、ふた	ボトルのキャップ、ふた	0.03	0.4	0.2	
		小計	0.03	0.4	0.2	
	ボトル	飲料用(ペットボトル) < 1L		2.44	32.8	14.1
		その他のプラボトル < 1L		0.00	0.0	0.0
		飲料用(ペットボトル) ≥ 1L		1.47	19.8	8.5
		その他のプラボトル類 ≥ 1L		0.42	5.6	2.4
		小計	4.33	58.2	25.0	
	ストロー	ストロー	0.02	0.3	0.1	
		小計	0.02	0.3	0.1	
	マドラー、フォーク、ナイフ、スプーン等	マドラー、フォーク、ナイフ、スプーン等	0.00	0.0	0.0	
		小計	0.00	0.0	0.0	
	食品容器(ファーストフード、コップ、ランチボックス、それに類するもの)	カップ、食器		0.00	0.0	0.0
		食品容器		0.21	2.8	1.2
		小計	0.21	2.8	1.2	
	ポリ袋(不透明、透明)	食品の容器包装		0.24	3.2	1.4
		レジ袋		0.13	1.7	0.7
		その他プラスチック袋		0.00	0.0	0.0
		小計	0.37	5.0	2.1	
	ライター	ライター	0.03	0.4	0.2	
		小計	0.03	0.4	0.2	
	テープ(荷造りバンド、ビニールテープ)	テープ(荷造りバンド、ビニールテープ)	0.01	0.1	0.1	
		小計	0.01	0.1	0.1	
	シートや袋の破片	シートや袋の破片	1.17	15.7	6.7	
		小計	1.17	15.7	6.7	
	硬質プラスチック破片	硬質プラスチック破片	0.38	5.1	2.2	
		小計	0.38	5.1	2.2	
	ウレタン	ウレタン	0.05	0.7	0.3	
		小計	0.05	0.7	0.3	
	ブイ(漁具)	浮子(ブイ)(漁具)	0.07	0.9	0.4	
		小計	0.07	0.9	0.4	
	ロープ、ひも(漁具)	ロープ、ひも(漁具)	0.61	8.2	3.5	
		小計	0.61	8.2	3.5	
	アナゴ筒(フタ、筒)(漁具)	アナゴ筒(フタ、筒)(漁具)	0.00	0.0	0.0	
		小計	0.00	0.0	0.0	
	カキ養殖用まめ管(長さ1.5cm)(漁具)	カキ養殖用まめ管(長さ1.5cm)(漁具)	0.00	0.0	0.0	
		小計	0.00	0.0	0.0	
	カキ養殖用パイプ(長さ10-20cm)(漁具)	カキ養殖用パイプ(長さ10-20cm)(漁具)	0.00	0.0	0.0	
		小計	0.00	0.0	0.0	
	漁網(漁具)	漁網(漁具)	0.12	1.6	0.7	
		小計	0.12	1.6	0.7	
	その他の漁具(漁具)	かご漁具		0.00	0.0	0.0
		その他の漁具		0.03	0.4	0.2
	小計	0.03	0.4	0.2		
釣具	釣りのルアー・浮き		0.00	0.0	0.0	
	釣り糸		0.00	0.0	0.0	
	その他の釣具		0.00	0.0	0.0	
	小計	0.00	0.0	0.0		
たばこ吸殻(フィルター)	たばこ吸殻(フィルター)	0.00	0.0	0.0		
	小計	0.00	0.0	0.0		
生活雑貨(歯ブラシ等)	生活雑貨(歯ブラシ等)	0.01	0.1	0.1		
	小計	0.01	0.1	0.1		
苗木ポット	苗木ポット	0.00	0.0	0.0		
	小計	0.00	0.0	0.0		
その他	花火		0.00	0.0	0.0	
	玩具		0.00	0.0	0.0	
	プラスチック梱包材		0.00	0.0	0.0	
	シリンジ・注射器		0.00	0.0	0.0	
	分類に無いもので多数見つかった場合には記載()		0.00	0.0	0.0	
	その他		0.00	0.0	0.0	
	小計	0.00	0.0	0.0		
プラスチック 合計			7.44	100.0	42.9	
(発泡スチロール)	コップ、食品容器	食品容器(発泡スチロール)	0.06	100.0	0.3	
		コップ、食器(発泡スチロール)	0.00	0.0	0.0	
		小計	0.06	100.0	0.3	
	発泡スチロール製フロート、ブイ	発泡スチロール製フロート・浮子(ブイ)	0.00	0.0	0.0	
		小計	0.00	0.0	0.0	
	発泡スチロールの破片	発泡スチロールの破片	0.00	0.0	0.0	
		小計	0.00	0.0	0.0	
	発泡スチロール製包装材	発泡スチロール製包装材	0.00	0.0	0.0	
		小計	0.00	0.0	0.0	
	その他	分類に無いもので多数見つかった場合には記載()		0.00	0.0	0.0
その他			0.00	0.0	0.0	
	小計	0.00	0.0	0.0		
発泡スチロール 合計			0.06	100.0	0.3	

表 3.2.3-3 (2) 海岸漂着物の集計結果 (重量)

大分類	必須項目	オプション項目	重量 (kg)	重量の総計に占める割合 (%)	
				各大分類の合計重量に占める割合 (%)	重量の総計に占める割合 (%)
ゴム	ゴム	タイヤ	0.00	0.0	0.0
		玩具、ボール	0.00	0.0	0.0
		風船	0.00	0.0	0.0
		靴(サンダル、靴底含む)	0.00	0.0	0.0
		ゴムの破片	0.00	0.0	0.0
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載()	0.00	0.0	0.0
		その他	0.00	0.0	0.0
		小計	0.00	0.0	0.0
	ゴム 合計	0.00	0.0	0.0	
ガラス、陶器	ガラス、陶器	建築資材	0.00	0.0	0.0
		食品容器	0.00	0.0	0.0
		ガラス、陶器の破片	0.00	0.0	0.0
		食品以外容器	0.00	0.0	0.0
		コップ、食器	0.00	0.0	0.0
		電球	0.00	0.0	0.0
		蛍光管	0.00	0.0	0.0
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載()	0.00	0.0	0.0
		その他	0.00	0.0	0.0
		小計	0.00	0.0	0.0
	ガラス、陶器 合計	0.00	0.0	0.0	
金属	金属	ビンのふた、キャップ、ブルタブ	0.00	0.0	0.0
		アルミの飲料缶	1.05	94.6	6.1
		スチール製飲料用缶	0.00	0.0	0.0
		金属製コップ、食器	0.00	0.0	0.0
		フォーク・ナイフ・スプーン等	0.00	0.0	0.0
		その他の缶(ガスボンベ、ドラム缶、バケツ等)	0.06	5.4	0.3
		金属片	0.00	0.0	0.0
		ワイヤー、針金	0.00	0.0	0.0
		金属製漁具	0.00	0.0	0.0
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載()	0.00	0.0	0.0
		その他	0.00	0.0	0.0
		小計	1.11	100.0	6.4
			金属 合計	1.11	100.0
紙、ダンボール	紙、ダンボール	紙製コップ、食器	0.00	0.0	0.0
		タバコのパッケージ(フィルム、銀紙を含む)	0.00	0.0	0.0
		花火	0.00	0.0	0.0
		紙袋	0.00	0.0	0.0
		食品包装材	0.00	0.0	0.0
		紙製容器(飲料用紙パック等)	0.00	0.0	0.0
		紙片(段ボール、新聞紙等を含む)	0.61	100.0	3.5
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載()	0.00	0.0	0.0
		その他	0.00	0.0	0.0
		小計	0.61	100.0	3.5
	紙、ダンボール 合計	0.61	100.0	3.5	
天然繊維、革	天然繊維、革	ロープ、ひも	0.00	0.0	0.0
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載()	0.00	0.0	0.0
		その他	0.09	100.0	0.5
小計	0.09	100.0	0.5		
	天然繊維、革 合計	0.09	100.0	0.5	
木(木材等)	木(木材等)	木材(物流用パレット、木炭等含む)	0.63	100.0	3.6
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載()	0.00	0.0	0.0
		その他	0.00	0.0	0.0
小計	0.63	100.0	3.6		
	木(木材等) 合計	0.63	100.0	3.6	
電化製品、電子機器	電化製品、電子機器	電化製品、電子機器	0.00	0.0	0.0
		小計	0.00	0.0	0.0
	電化製品、電子機器 合計	0.00	0.0	0.0	
自然物	自然物	灌木(植物片を含む、径10cm未満、長さ1m未満)	4.25	57.4	24.5
		流木(径10cm以上、長さ1m以上)	3.15	42.6	18.2
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載()	0.00	0.0	0.0
		その他	0.00	0.0	0.0
小計	7.40	100.0	42.7		
	自然物 合計	7.40	100.0	42.7	
その他	その他	その他1()	0.00	0.0	0.0
		その他2()	0.00	0.0	0.0
		その他3()	0.00	0.0	0.0
		小計	0.00	0.0	0.0
	その他 合計	0.00	0.0	0.0	
人力で動かせない物	緯度: 経度:	ごみの種類()	0.00	0.0	0.0
		小計	0.00	0.0	0.0
	その他 合計	0.00	0.0	0.0	
総計			17.34	100.0	100.0

3.2.4 海岸漂着物の分類結果

3.2.4.1 大分類別組成比

大分類別に分類した組成比（個数・容量・重量）について、集計した結果を表 3.2.4.1 及び図 3.2.4.1-1～3 に示した。

大分類別の個数についてみると、全個数のうちプラスチックの数が最も多く 130 個、83.9%を占め、次いで金属が 12 個、7.7%、発泡スチロールが 5 個、3.2%と続いている。

大分類別の容量についてみると、全容量のうち自然物の量が最も大きく 110L、49.5%を占め、次いでプラスチックが 89.6L、40.3%と続いている。

大分類別の重量についてみると、全重量のうちプラスチックの量が最も重く 7.44kg、42.9%を占め、次いで自然物が 7.4kg、42.7%と続いている。

表 3.2.4.1 九十九里海岸・中谷里における大分類別の集計結果

	個数		容量		重量		
	個	%	L	%	kg	%	
人工物	プラスチック	130	83.9	89.6	40.3	7.44	42.9
	発泡スチロール	5	3.2	3	1.3	0.06	0.3
	ゴム	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	ガラス、陶器	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	金属	12	7.7	3.3	1.5	1.11	6.4
	紙、ダンボール	0	0.0	5	2.2	0.61	3.5
	天然繊維、革	1	0.6	0.4	0.2	0.09	0.5
	木（木材等）	4	2.6	11	4.9	0.63	3.6
	電化製品、電子機器	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	自然物	3	1.9	110	49.5	7.4	42.7
	その他	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	人力で動かせない物	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	総計	155	100.0	222.3	100.0	17.34	100.0

※人力で動かせない物は全て流木のため、人工物には含めていない。

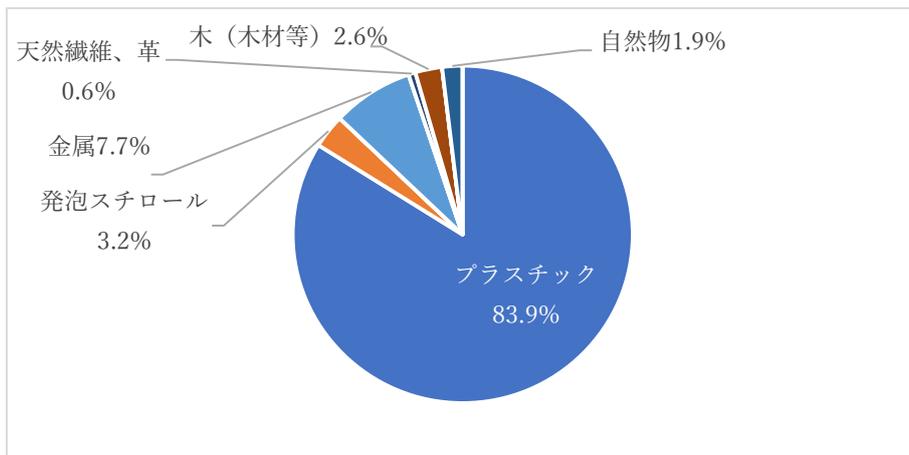


図 3.2.4.1-1 九十九里海岸・中谷里における大分類別組成比 (個数)

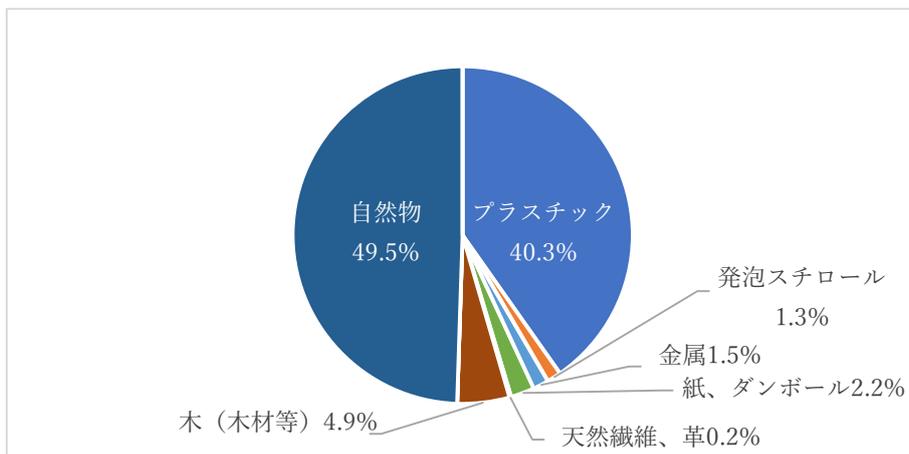


図 3.2.4.1-2 九十九里海岸・中谷里における大分類別組成比 (容量)

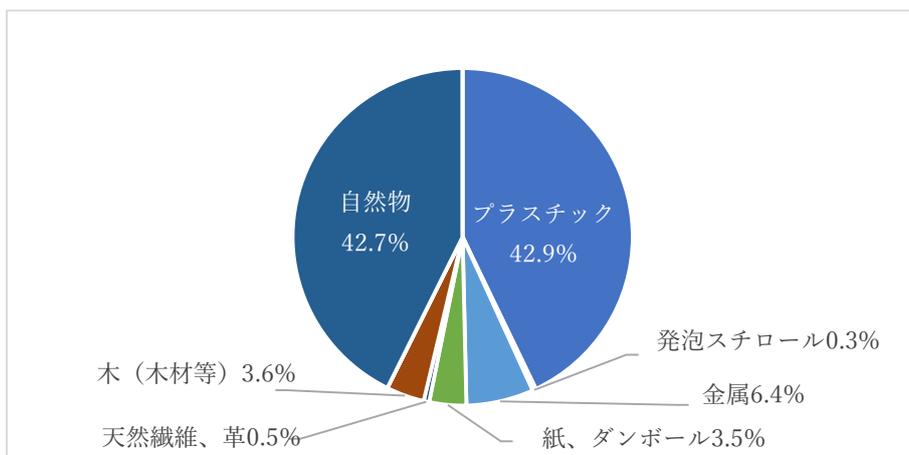


図 3.2.4.1-3 九十九里海岸・中谷里における大分類別組成比 (重量)

人工物のみの個数、容量、重量についての組成比について、図 3.2.4.1-4~6 に示した。

個数においては、プラスチックが 85.5%、次いで金属 7.9%であった。

容量においては、プラスチック 79.8%、次いで木（木材等）が 9.8%であった。

重量においては、プラスチックが 74.8%、次いで金属が 11.2%であった。

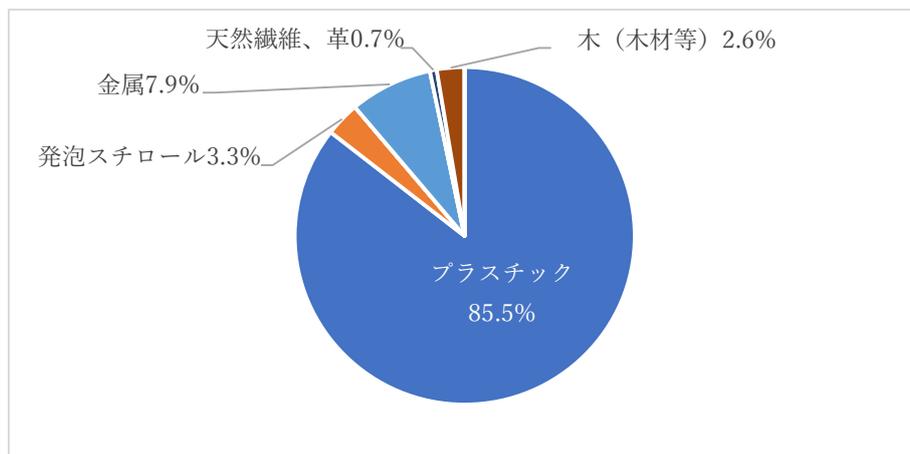


図 3.2.4.1-4 九十九里海岸・中谷里における人工物 大分類別組成比（個数）

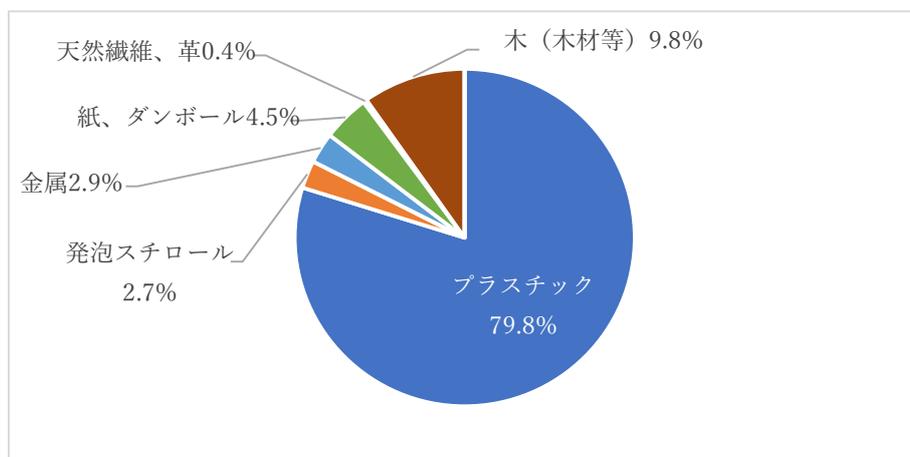


図 3.2.4.1-5 九十九里海岸・中谷里における人工物 大分類別組成比（容量）

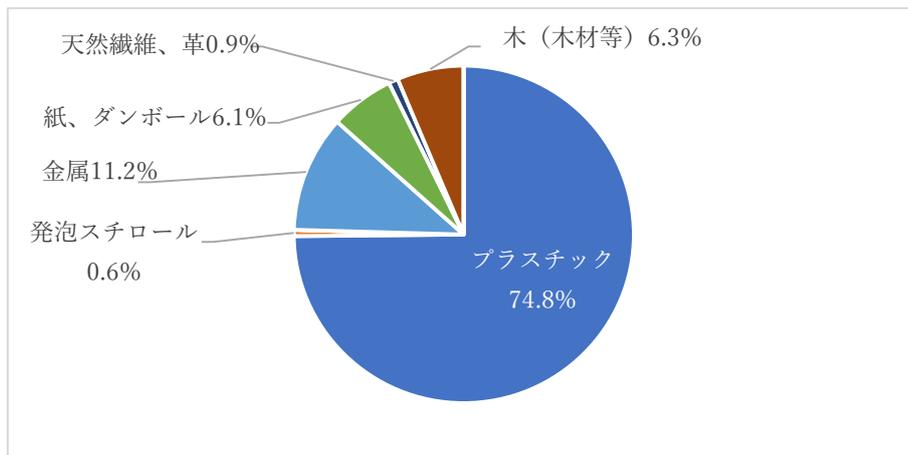


図 3.2.4.1-6 九十九里海岸・中谷里における人工物 大分類別組成比（重量）

3.2.4.2 3分類による組成比

3分類（自然物、海域由来、人工物）別に分類した組成比（個数・容量・重量）を表3.2.4.2及び図3.2.4.2に示した。なお、海域由来とは、図2.2.2-1分類表のプラスチック類のうち漁具（浮子、漁網等）や釣具（釣りのルアー、浮き等）などに分類されるものを指す。また、ここでいう人工物とは、海域由来の人工物を除いた集計値である。また、自然物の個数とは流木と人力で動かさない物（流木）の値である。

3分類別の個数についてみると、人工物が113個、72.9%、海域由来が39個、25.2%、自然物が3個、1.9%であった。

3分類別の容量についてみると、自然物が110L、49.5%、人工物が104.9L、47.2%、海域由来が7.4L、3.3%であった。

3分類別の重量についてみると、人工物が9.11kg、52.5%、自然物が7.4kg、42.7%、海域由来が0.83kg、4.8%であった。

表 3.2.4.2 九十九里海岸・中谷里における3分類別の集計結果

	個数		容量		重量	
	個	%	L	%	kg	%
自然物	3	1.9	110	49.5	7.4	42.7
海域由来	39	25.2	7.4	3.3	0.83	4.8
人工物	113	72.9	104.9	47.2	9.11	52.5
総計	155	100.0	222.3	100.0	17.34	100.0

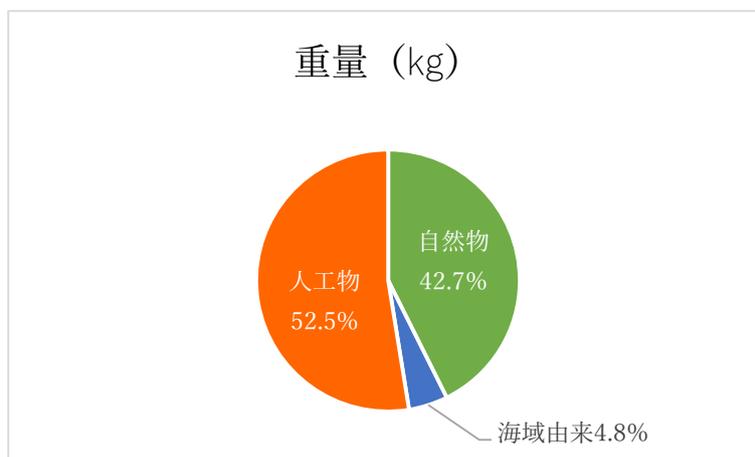
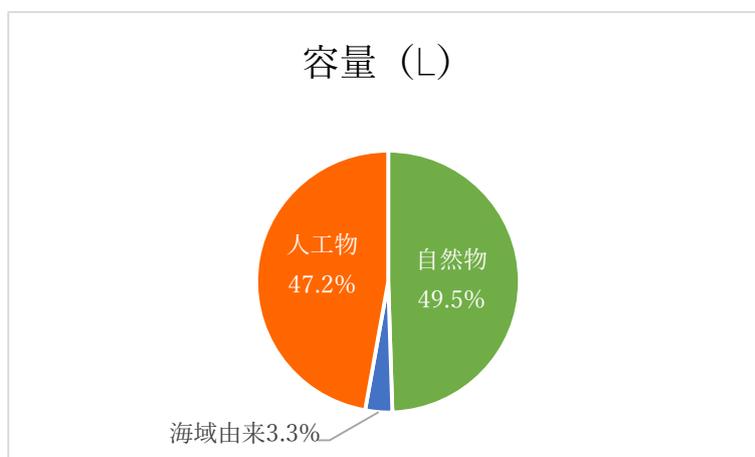
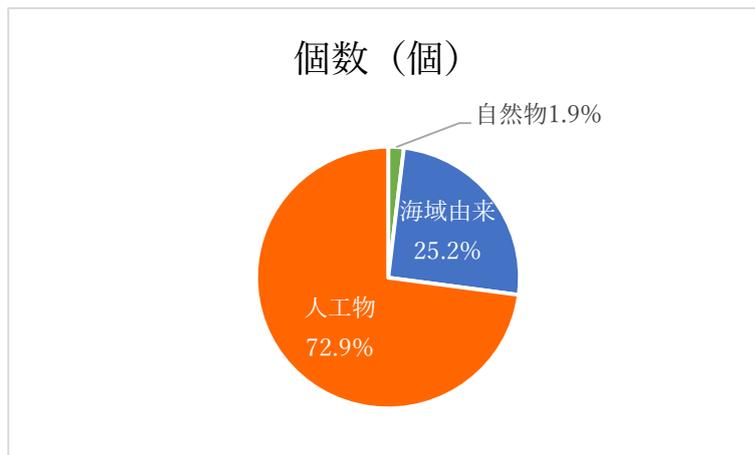


図 3.2.4.2 九十九里海岸・中谷里における3分類別組成比
(上:個数、中:容量、下:重量)

3.2.4.3 国別組成比

ペットボトル、ペットボトルのキャップ、漁業用の浮子について言語表記調査により分類した組成比（個数）について、集計した結果をペットボトルについては図 3.2.4.3-1、ペットボトルのキャップについては図 3.2.4.3-2、漁業用の浮子については図 3.2.4.3-3 に示した。

ペットボトルの国別組成比をみると、不明が 16 個、61%、日本が 6 個、23%、韓国が 2 個、8%、中国・台湾が 1 個、4%、英語が 1 個、4%であった。

ペットボトルのキャップの国別組成比をみると、日本が 2 個、50%、英語が 1 個、25%、不明が 1 個、25%であった。

漁業用の浮子の国別組成比をみると、中国・台湾が 2 個、100%であった。

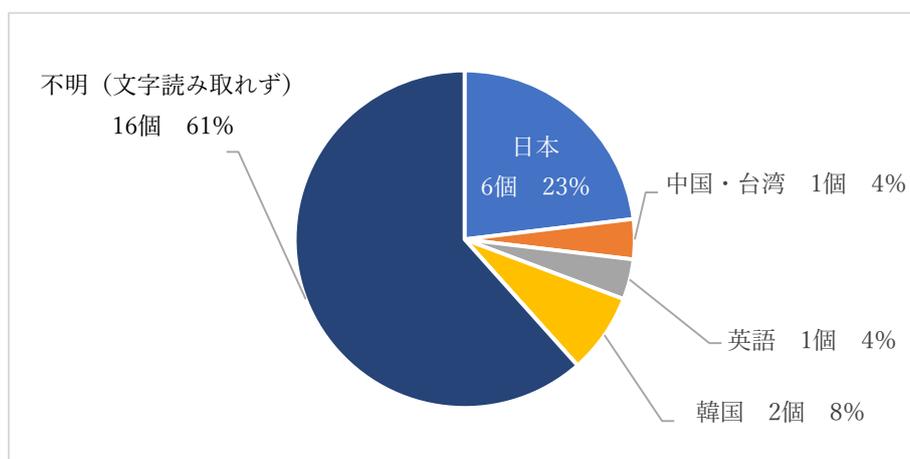


図 3.2.4.3-1 ペットボトルの国別組成比（個数）

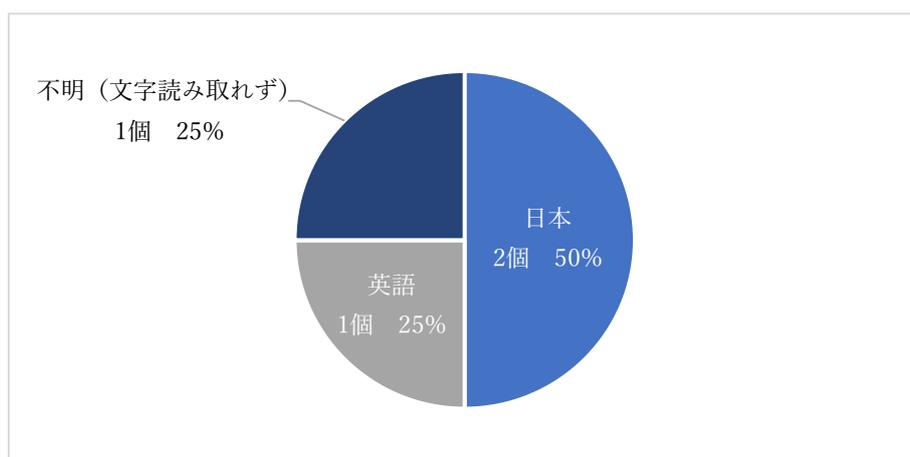


図 3.2.4.3-2 ペットボトルのキャップの国別組成比（個数）



図 3. 2. 4. 3-3 漁業用浮子の国別組成比（個数）

3.2.5 九十九里海岸・中谷里における漂着物の傾向と特徴

3.2.4 において調査結果について各分類における組成比を示した。結果、九十九里海岸・中谷里の個数では人工物（海域由来を含む）が 98.1%を占める結果となり、人工物が顕著に多くみられた。容量および重量においては人工物（海域由来を含む）がそれぞれ 50.5%、57.3%という結果であった。

人工物の組成では、プラスチックが個数、容量、重量ともにほとんどを占める傾向が見られたことから、プラスチックごみの内訳について分析を行い傾向と特徴について検討した。プラスチック及び発泡スチロールの内訳について「表 3.2.3-1 海岸漂着物の調査結果（個数）」をもとに個数の多い項目順に並べ替えてプラ分類別に色分けしたグラフ及びプラ分類の組成比を示した円グラフを図 3.2.5-1 に、「表 3.2.3-3 海岸漂着物の調査結果（重量）」をもとに個数の多い項目順に並べ替えてプラ分類別に色分けしたグラフ及びプラ分類の組成比を示した円グラフを図 3.2.5-2 に示す。なお、プラ分類とは、プラスチックの用途別に分類したもので「分類表」（図 2.2.2-1）に記載のプラ分類の項目をもとに分類したものである。

プラスチックごみのうち、最も個数が多いものはロープ、ひも（漁具）31 個で、次に食品の容器包装 23 個、飲料用（ペットボトル）<1L 21 個と続く結果であった。最も重量が重いものは飲料用（ペットボトル）<1L 2.44kg であった。

なお、言語表記等調査では、回収された 26 個のペットボトルのうち、海外の言語と判別できたものは 4 個であり、日本語で表記されたものは 6 個であった。回収された 4 個のペットボトルのキャップのうち、海外の言語と判別できたものは 1 個であり、日本語で表記された 2 個であった。回収された 2 個の漁業用の浮子のうち、海外の言語と判別できたものは 2 個であった。海外の言語と判別できたものであっても、発生源を推定することは困難であった。また、日本語で表記されていても、千葉県内で発生したものなのか、県外から潮流の影響により到達したごみなのかどうかの判別は困難であった。

本年度の九十九里海岸・中谷里（旭市）の海岸漂着物の特徴としては、個数、重量においては人工物が多く、容量においては自然物が多くを占めた。また人工物の中ではプラスチックが多く、個数においては食品の容器包装などプラスチック素材の容器包装が多く、重量においても飲料用（ペットボトル）<1L などプラスチック素材の容器包装が最も多くみられた。

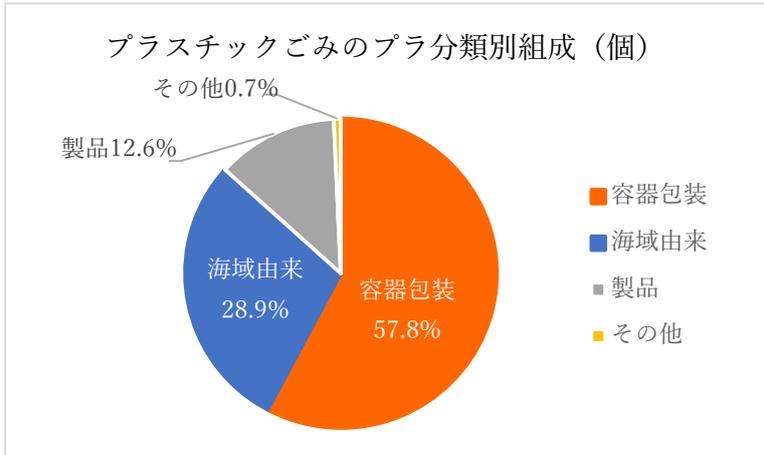
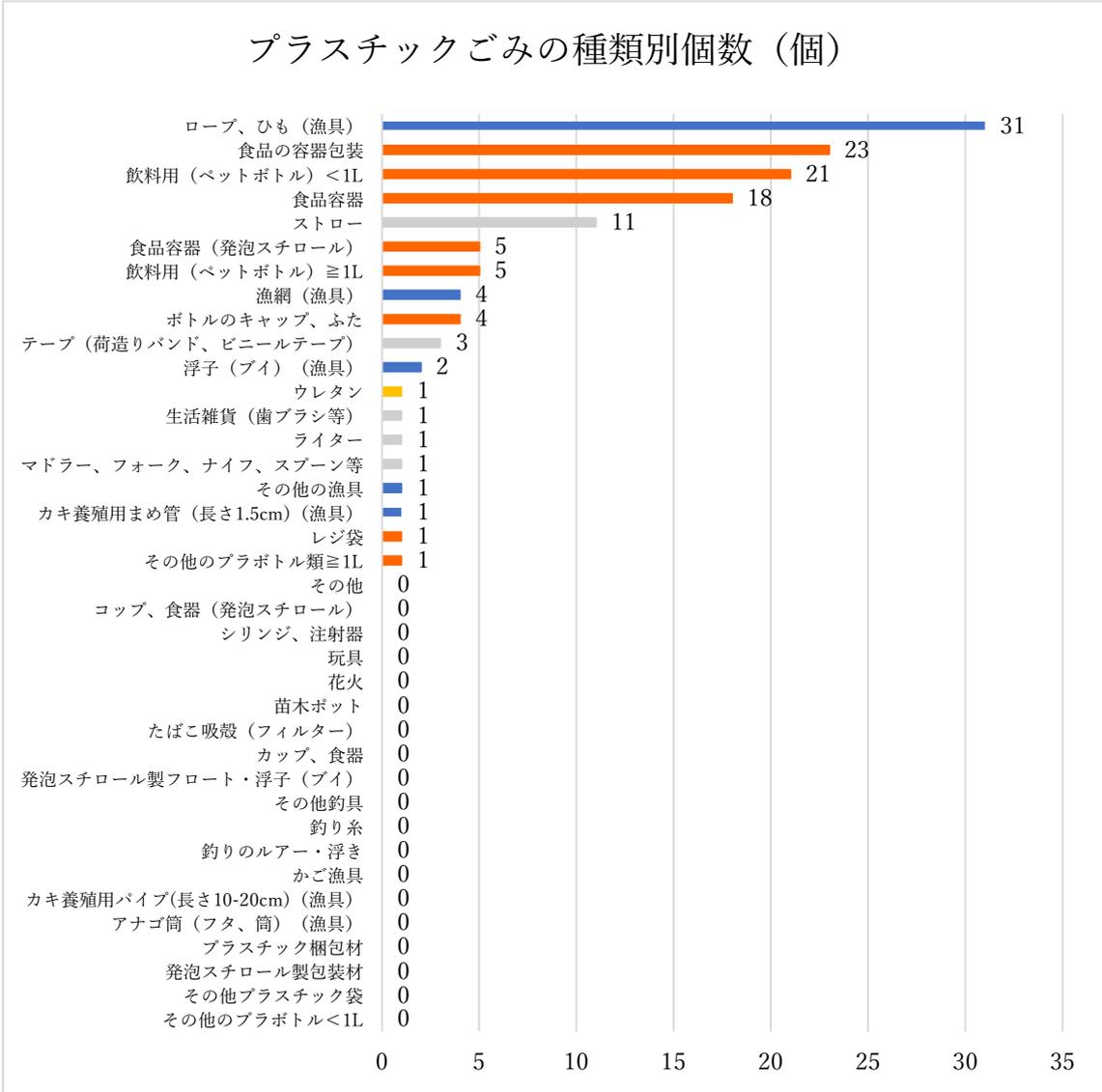


図 3.2.5-1 上段：プラスチックごみの種類別プラ分類別個数（個）
 下段：プラスチックごみのプラ分類別組成比 個数（個）

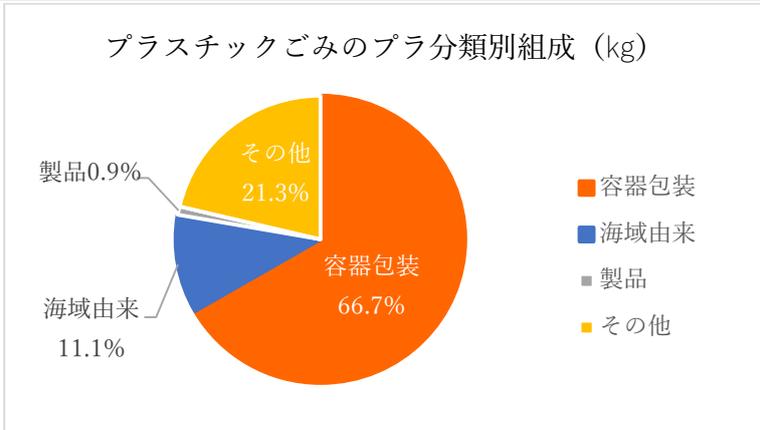
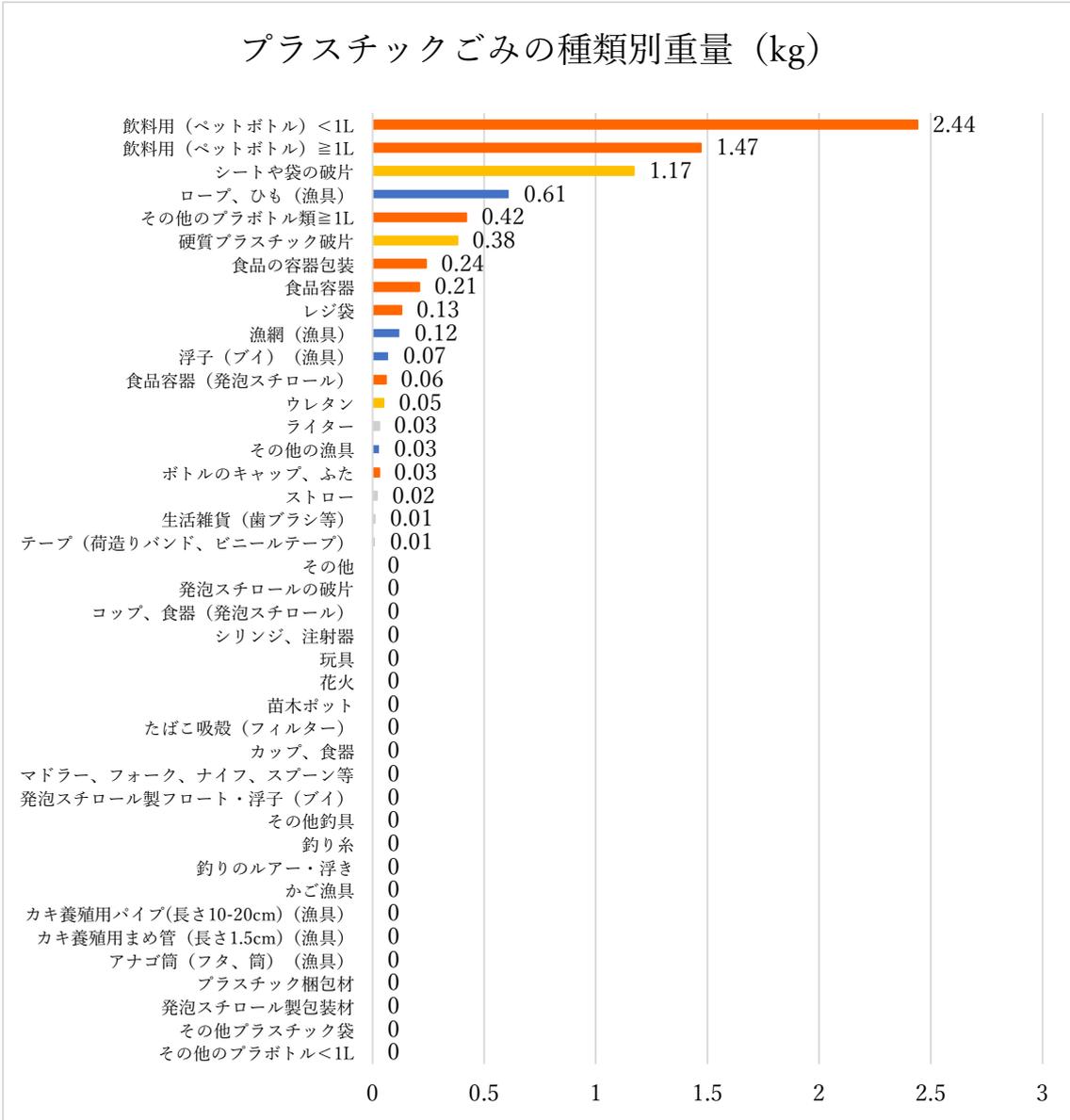


図 3.2.5-2 上段：プラスチックごみの種類別プラ分類別重量 (kg)
 下段：プラスチックごみのプラ分類別組成比 重量 (kg)

3.3 まとめ

千葉県内の内房、外房の各海岸にて1地点の調査を行った結果、外房の九十九里海岸・中谷里(旭市)に比べ、内房の布引海岸(富津市)では個数でおよそ2.5倍、容量でおよそ19.6倍、重量でおよそ42.7倍の漂着物が確認された。

大分類における組成比で見ると、個数、容量のいずれも、両海岸ともに人工物が多くみられた。重量では、布引海岸では自然物が、九十九里海岸・中谷里では人工物が多くを占める結果となった。

人工物の組成において個数は、両海岸ともにプラスチックが85%以上を占めた。一方で容量、重量では、布引海岸では木(木材等)が80%以上を、九十九里海岸・中谷里ではプラスチックが70%以上を占めた。

人工物、海域由来、自然物に分類した3分類の組成比において個数は、布引海岸では45.8%が人工物だったが、九十九里海岸・中谷里では72.9%が人工物だった。一方で容量は、自然物が布引海岸では94.2%、九十九里海岸・中谷里では49.5%を占めていた。重量では、布引海岸では94.1%を自然物が、九十九里海岸・中谷里では52.5%を人工物が占めていた。

製造国の特定に関する言語表記等調査では、日本語が表記されているもの、文字の記載がない、もしくは、波などで文字が削られて製造国が判断できない不明のものがほとんどだった。調査結果からは、発生源を推定することは困難であった。

また、両海岸において海岸清掃ボランティアの活動が見られた。布引海岸のボランティア活動を取りまとめている富津市市民課市民活動推進係に問い合わせたところ、布引海岸では平均1か月に2~3回程度(人数は1人から240人まで規模は様々)が登録して活動を行っているとのことであった。加えて、申請を提出している活動以外にも海岸の利用者が実施しているとのことであった。九十九里海岸・中谷里の海岸清掃ボランティア活動等について旭市環境課環境美化班へ確認したところ、海岸の利用者が定期的に清掃活動を実施しているようだが、申請等は提出されていないため具体的な場所や実施規模については不明とのことであった。

4. 経年変化に関する検討

ここでは令和2年度～令和6年度の調査結果について経年変化に関する検討を各調査地点について行う。

4.1 布引海岸（富津市）

写真4.1に調査区画様子の写真を示す。なお、布引海岸の令和3年度の調査は漂着状況が平均的な地点で調査を実施するため、調査区画を西へ50mほど移動させた調査区画にて実施している。

写真4.1 回収前の写真

（※布引海岸の令和3年度の調査は、調査区画を西へ50mほど移動した調査区画にて実施。）

	回収前（東向き）	回収前（西向き）
令和2年度		
令和3年度		



調査結果の個数、容量、重量について、令和2年度～令和6年度の大分類別の経年変化を表4.1-1～5に、人工物の経年変化を図4.1-1に示した。

大分類別のプラスチックの経年変化では、個数、容量では令和3年度をピークに、重量では令和2年度をピークに減少傾向であった。過年度の結果のうち令和6年度の結果が占める割合をみると、個数が最も多かった令和3年度の約27.7%、容量が最も多かった令和3年度の約11.7%、重量が最も多かった令和2年度の約6.5%であった。

人工物の経年変化では、容量と重量において増加傾向がみられ、木（木材等）の割合が高い令和4年度と同様の組成がみられる。

大分類の総計において、令和6年度の個数の結果は令和2年度、5年度とほとんど変わらず、令和3年度、4年度より減少した。容量の結果は、令和5年度とほとんど変わらず、令和2年度、3年度より増加し、令和4年度のおおよそ半分程度に減少した。重量の結果は、

令和3年度のおおよそ3倍に増加し、令和4年度より減少した。

これらの変化について、現地の状況としては、令和6年度では令和5年度と同様に灌木、流木などの自然物が多く漂着していた。海岸の様子は、砂浜部が広く、植生は防風林手前の少し高くなっている部分に帯状に広がっている様子がみられた。また、風等により移動したとみられるごみが、植生内にみられた。

これらの傾向について、一時的なものか継続的なものかどうかについては今後の継続的な調査による比較検討が必要と思われる。

表 4.1-1 令和2年度調査結果 大分類別の集計結果

	個数		容量		重量	
	個	%	L	%	kg	%
プラスチック	315	68.6	137	9.4	89.97	16.1
発泡スチロール	13	2.8	0.8	0.1	0.07	0.0
ゴム	15	3.3	6.5	0.4	2.99	0.5
ガラス、陶器	10	2.2	3.9	0.3	3.38	0.6
金属	13	2.8	6	0.4	1.14	0.2
紙、ダンボール	2	0.4	1.5	0.1	0.09	0.0
天然繊維、革	0	0.0	0	0.0	0	0.0
木（木材等）	33	7.2	15	1.0	5.55	1.0
電化製品、電子機器	0	0.0	0	0.0	0	0.0
自然物	58	12.6	1292.7	88.3	457.02	81.6
その他	0	0.0	0	0.0	0	0.0
人力で動かせない物	0	0.0	0	0.0	0	0.0
総計	459	100.0	1463.4	100.0	560.21	100.0

表 4.1-2 令和3年度調査結果 大分類別の集計結果

	個数		容量		重量	
	個	%	L	%	kg	%
プラスチック	1288	90.4	300.9	19.7	21.65	9.0
発泡スチロール	43	3.0	2	0.1	0.05	0.0
ゴム	21	1.5	8.4	0.5	1.64	0.7
ガラス、陶器	4	0.3	0.7	0.0	0.45	0.2
金属	7	0.5	56.9	3.7	14.85	6.1
紙、ダンボール	0	0.0	0	0.0	0	0.0
天然繊維、革	0	0.0	0	0.0	0	0.0
木（木材等）	31	2.2	48	3.1	1.83	0.8
電化製品、電子機器	0	0.0	0	0.0	0	0.0
自然物	30	2.1	915.9	59.9	186.71	77.2
その他	0	0.0	0	0.0	0	0.0
人力で動かせない物	1	0.1	195.9	12.8	14.6	6.0
総計	1425	100.0	1528.7	100.0	241.78	100.0

※その他に分類されていたマスクは、分類項目をそろえるためプラスチックとして集計した。

表 4.1-3 令和4年度調査結果 大分類別の集計結果

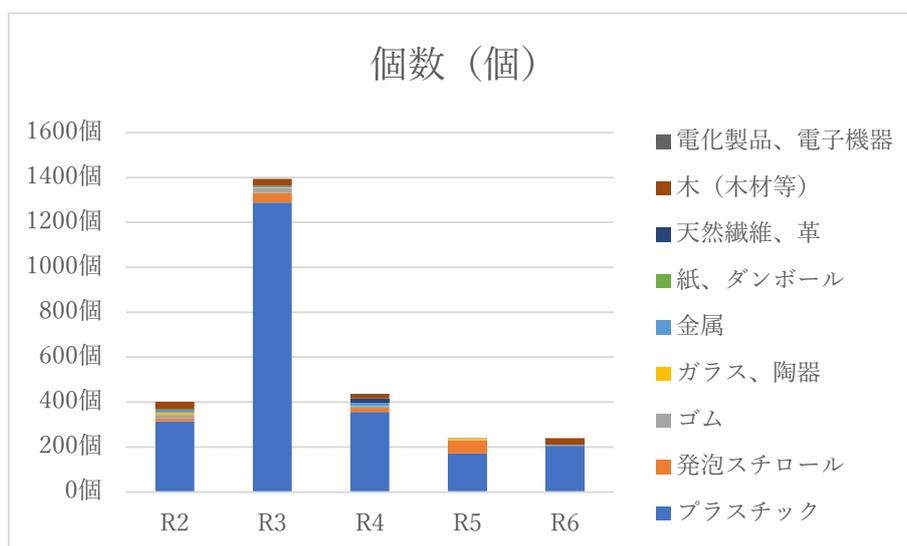
	個数		容量		重量	
	個	%	L	%	kg	%
プラスチック	356	54.7	65.1	0.6	5.99	0.3
発泡スチロール	18	2.8	1.3	0.0	0.08	0.0
ゴム	6	0.9	1.1	0.0	0.24	0.0
ガラス、陶器	2	0.3	0.5	0.0	0.49	0.0
金属	18	2.8	3.1	0.0	1.18	0.1
紙、ダンボール	0	0.0	0	0.0	0	0.0
天然繊維、革	16	2.5	22	0.2	9.18	0.4
木（木材等）	19	2.9	96	0.9	35.5	1.6
電化製品、電子機器	2	0.3	0.5	0.0	0.04	0.0
自然物	212	32.6	10648	97.3	2157	95.9
その他	0	0.0	0	0.0	0	0.0
人力で動かせない物	2	0.3	106	1.0	39.22	1.7
総計	651	100.0	10943.6	100.0	2248.92	100.0

表 4.1-4 令和5年度調査結果 大分類別の集計結果

	個数		容量		重量	
	個	%	L	%	kg	%
プラスチック	171	36.7	10.1	0.2	2.03	0.4
発泡スチロール	58	12.4	0.4	0.0	0.04	0.0
ゴム	0	0.0	0	0.0	0	0.0
ガラス、陶器	7	1.5	0.9	0.0	0.19	0.0
金属	2	0.4	0.3	0.0	0.25	0.0
紙、ダンボール	0	0.0	0	0.0	0	0.0
天然繊維、革	0	0.0	0	0.0	0	0.0
木（木材等）	1	0.2	0.1	0.0	0.01	0.0
電化製品、電子機器	0	0.0	0	0.0	0	0.0
自然物	223	47.9	4896	98.0	495.3	93.5
その他	0	0.0	0	0.0	0	0.0
人力で動かせない物	4	0.9	85.9	1.7	31.77	6.0
総計	466	100.0	4993.7	100.0	529.59	100.0

表 4.1-5 令和6年度調査結果 大分類別の集計結果

	個数		容量		重量	
	個	%	L	%	kg	%
プラスチック	205	51.9	35.2	0.8	5.87	0.8
発泡スチロール	0	0.0	0.5	0.0	0.04	0.0
ゴム	1	0.3	1	0.0	0.52	0.1
ガラス、陶器	0	0.0	0.1	0.0	0.04	0.0
金属	3	0.8	0.8	0.0	0.31	0.0
紙、ダンボール	0	0.0	0.5	0.0	0.1	0.0
天然繊維、革	0	0.0	0	0.0	0	0.0
木（木材等）	30	7.6	216	5.0	36.66	5.0
電化製品、電子機器	0	0.0	0	0.0	0	0.0
自然物	156	39.5	4104	94.2	696.54	94.1
その他	0	0.0	0	0.0	0	0.0
人力で動かさない物	0	0.0	0	0.0	0	0.0
総計	395	100.0	4358.1	100.0	740.08	100.0



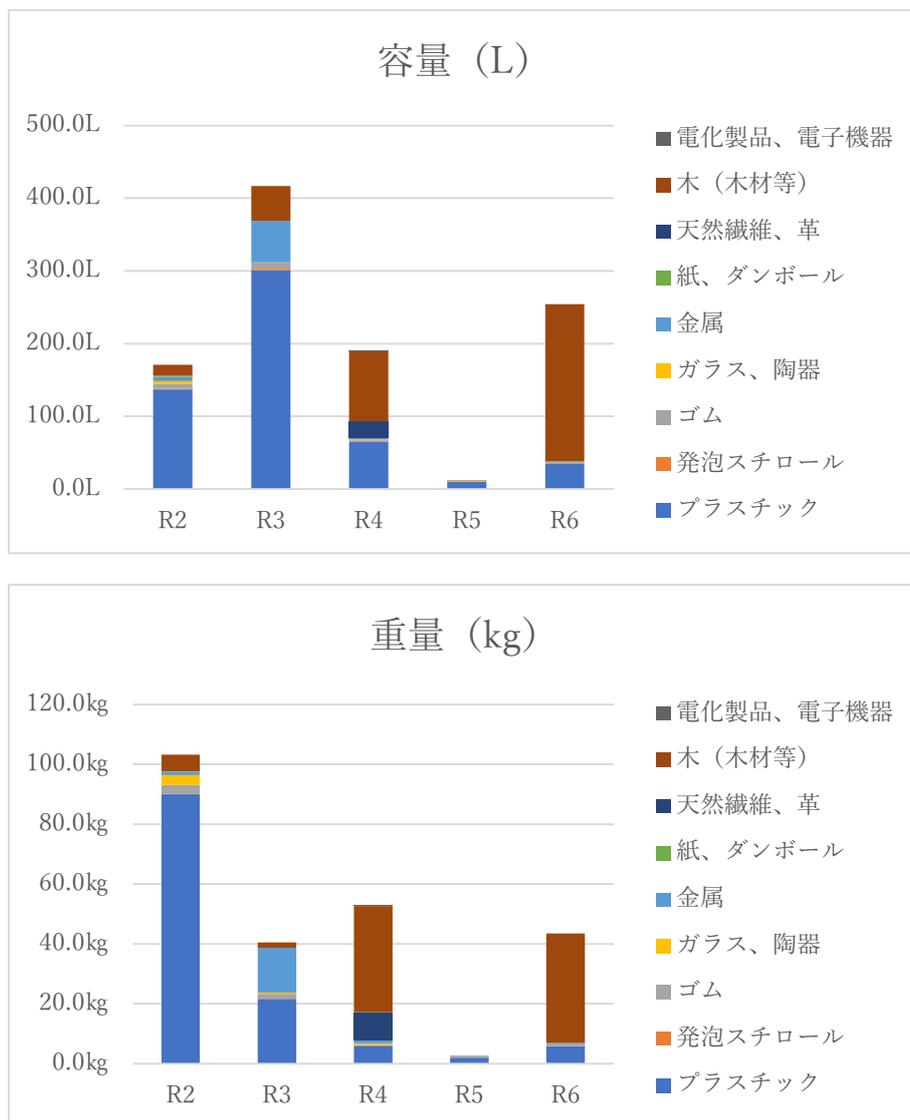


図 4.1-1 布引海岸における人工物の経年変化

次に、自然物、海域由来、人工物における3分類別の比較を行った結果について図 4.1-2 に示す。

人工物の組成が個数、容量、重量において令和3年度以降では減少傾向がみられたが、令和6年度は増加傾向にある。また、容量、重量において、令和4年度以降約9割以上が自然物となっている。

これらの傾向について、一時的なものか継続的なものかどうかについては今後の継続的な調査による比較検討が必要と思われる。

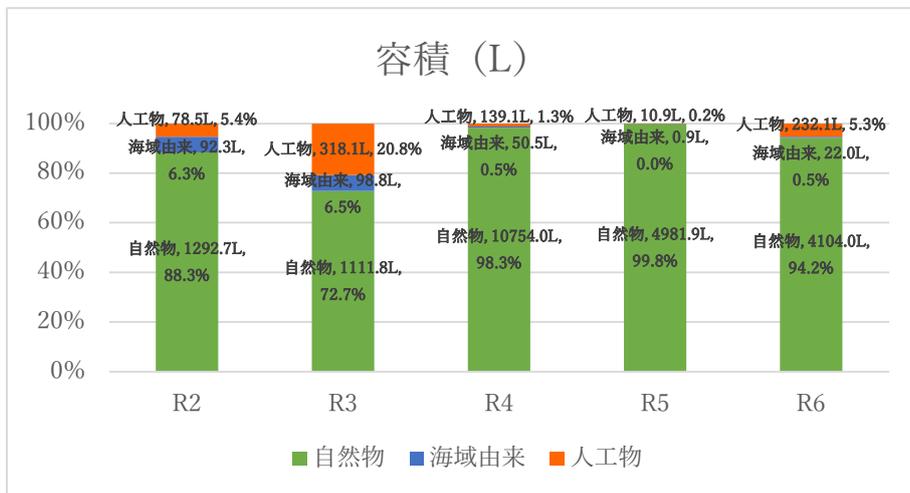
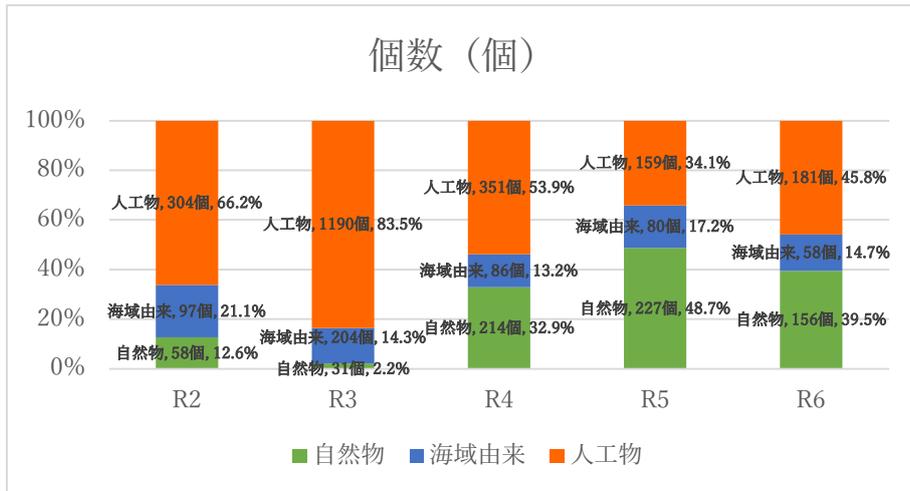


図 4.1-2 布引海岸における3分類の経年変化

4.2 九十九里海岸・中谷里（旭市）

写真 4.2 に比較のため令和 2 年度～令和 6 年度の九十九里海岸・中谷里の調査区画の回収前の様子の写真を示す。

写真 4.2 回収前の写真

	回収前（南向き）	回収前（北向き）
令和 2 年度		
令和 3 年度		
令和 4 年度		



調査結果の個数、容量、重量について、令和2年度～令和6年度の大分類別の経年変化を表4.2-1～5に、人工物の経年変化を図4.2-1に示した。

大分類の総計において、令和6年度の個数の結果は、令和2年度、4年度とほとんど変わらず、令和3年度、5年度より減少した。容量の結果は、令和2年度、4年度より増加し、令和3年度の2分の1以下に減少した。重量の結果は、令和4年度とほとんど変わらず、令和3年度の4分の1以下に減少となった。

これらの傾向について、一時的なものか継続的なものかどうかについては今後の継続的な調査による比較検討が必要と思われる。

表 4. 2-1 令和 2 年度調査結果 大分類別の集計結果

	個数		容量		重量	
	個	%	L	%	kg	%
プラスチック	151	80.3	38.9	28.9	11.63	11.3
発泡スチロール	9	4.8	31.5	23.4	0.5	0.5
ゴム	5	2.7	0.7	0.5	0.2	0.2
ガラス、陶器	1	0.5	1.2	0.9	0.64	0.6
金属	7	3.7	1.5	1.1	0.32	0.3
紙、ダンボール	1	0.5	0.5	0.4	0.1	0.1
天然繊維、革	0	0.0	0	0.0	0	0.0
木（木材等）	6	3.2	3.3	2.4	1.61	1.6
電化製品、電子機器	0	0.0	0	0.0	0	0.0
自然物	6	3.2	55.1	40.9	87.99	85.2
その他	2	1.1	2	1.5	0.31	0.3
人力で動かせない物	0	0.0	0	0.0	0	0.0
総計	188	100.0	134.7	100.0	103.3	100.0

※その他に分類されていたマスクは、分類項目をそろえるためプラスチックとして集計した。

表 4. 2-2 令和 3 年度調査結果 大分類別の集計結果

	個数		容量		重量	
	個	%	L	%	kg	%
プラスチック	271	79.0	183.9	34.3	12.29	14.6
発泡スチロール	39	11.4	27.2	5.1	1.06	1.3
ゴム	5	1.5	4.5	0.8	0.27	0.3
ガラス、陶器	8	2.3	1.8	0.3	0.91	1.1
金属	4	1.2	1.8	0.3	0.4	0.5
紙、ダンボール	0	0.0	0	0.0	0	0.0
天然繊維、革	0	0.0	0	0.0	0	0.0
木（木材等）	1	0.3	2	0.4	0.25	0.3
電化製品、電子機器	0	0.0	0	0.0	0	0.0
自然物	13	3.8	252	47.0	45.91	54.4
その他	0	0.0	0	0.0	0	0.0
人力で動かせない物	2	0.6	63	11.7	23.3	27.6
総計	343	100.0	536.2	100.0	84.39	100.0

※人力で動かせない物の項目を追加して集計した。

表 4.2-3 令和4年度調査結果 大分類別の集計結果

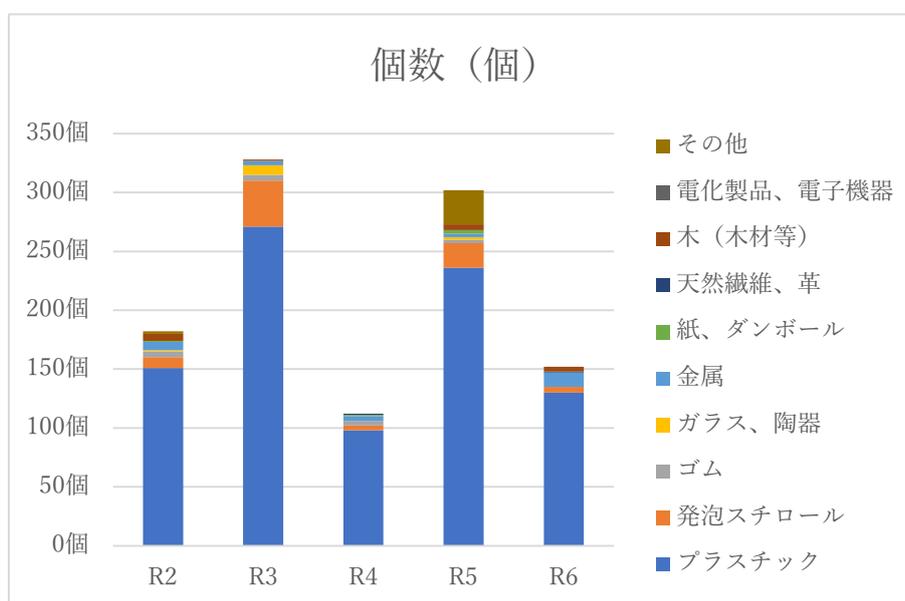
	個数		容量		重量	
	個	%	L	%	kg	%
プラスチック	98	87.5	11.4	48.9	0.91	38.4
発泡スチロール	4	3.6	0.1	0.4	0	0.1
ゴム	4	3.6	0.1	0.5	0.02	0.7
ガラス、陶器	0	0.0	0	0.0	0	0.0
金属	4	3.6	0.6	2.4	0.22	9.3
紙、ダンボール	1	0.9	0.2	0.9	0	0.1
天然繊維、革	1	0.9	0.4	1.7	0.02	0.6
木（木材等）	0	0.0	0	0.0	0	0.0
電化製品、電子機器	0	0.0	0	0.0	0	0.0
自然物	0	0.0	10.5	45.2	1.2	50.8
その他	0	0.0	0	0.0	0	0.0
人力で動かせない物	0	0.0	0	0.0	0	0.0
総計	112	100.0	23.2	100.0	2.36	100.0

表 4.2-4 令和5年度調査結果 大分類別の集計結果

	個数		容量		重量	
	個	%	L	%	Kg	%
プラスチック	236	76.6	62.4	7.5	8	4.1
発泡スチロール	21	6.8	0.9	0.1	0.09	0.0
ゴム	3	1.0	0.2	0.0	0.02	0.0
ガラス、陶器	2	0.6	0.2	0.0	0.1	0.1
金属	3	1.0	0.4	0.0	0.04	0.0
紙、ダンボール	3	1.0	0.3	0.0	0.01	0.0
天然繊維、革	0	0.0	0	0.0	0	0.0
木（木材等）	5	1.6	23	2.8	3.57	1.8
電化製品、電子機器	0	0.0	0	0.0	0	0.0
自然物	2	0.6	0.5	0.1	39.01	0.0
その他	29	9.4	360	43.0	0.06	20.0
人力で動かせない物	4	1.3	388.4	46.4	2408.77	73.8
総計	308	100.0	836.3	100.0	2459.67	100.0

表 4. 2-5 令和 6 年度調査結果 大分類別の集計結果

	個数		容量		重量	
	個	%	L	%	Kg	%
プラスチック	130	83.9	89.6	40.3	7.44	42.9
発泡スチロール	5	3.2	3	1.3	0.06	0.3
ゴム	0	0.0	0	0.0	0	0.0
ガラス、陶器	0	0.0	0	0.0	0	0.0
金属	12	7.7	3.3	1.5	1.11	6.4
紙、ダンボール	0	0.0	5	2.2	0.61	3.5
天然繊維、革	1	0.6	0.4	0.2	0.09	0.5
木（木材等）	4	2.6	11	4.9	0.63	3.6
電化製品、電子機器	0	0.0	0	0.0	0	0.0
自然物	0	0.0	0	0.0	0	0.0
その他	3	1.9	110	49.5	7.4	42.7
人力で動かせない物	0	0.0	0	0.0	0	0.0
総計	155	100.0	222.3	100.0	17.34	100.0



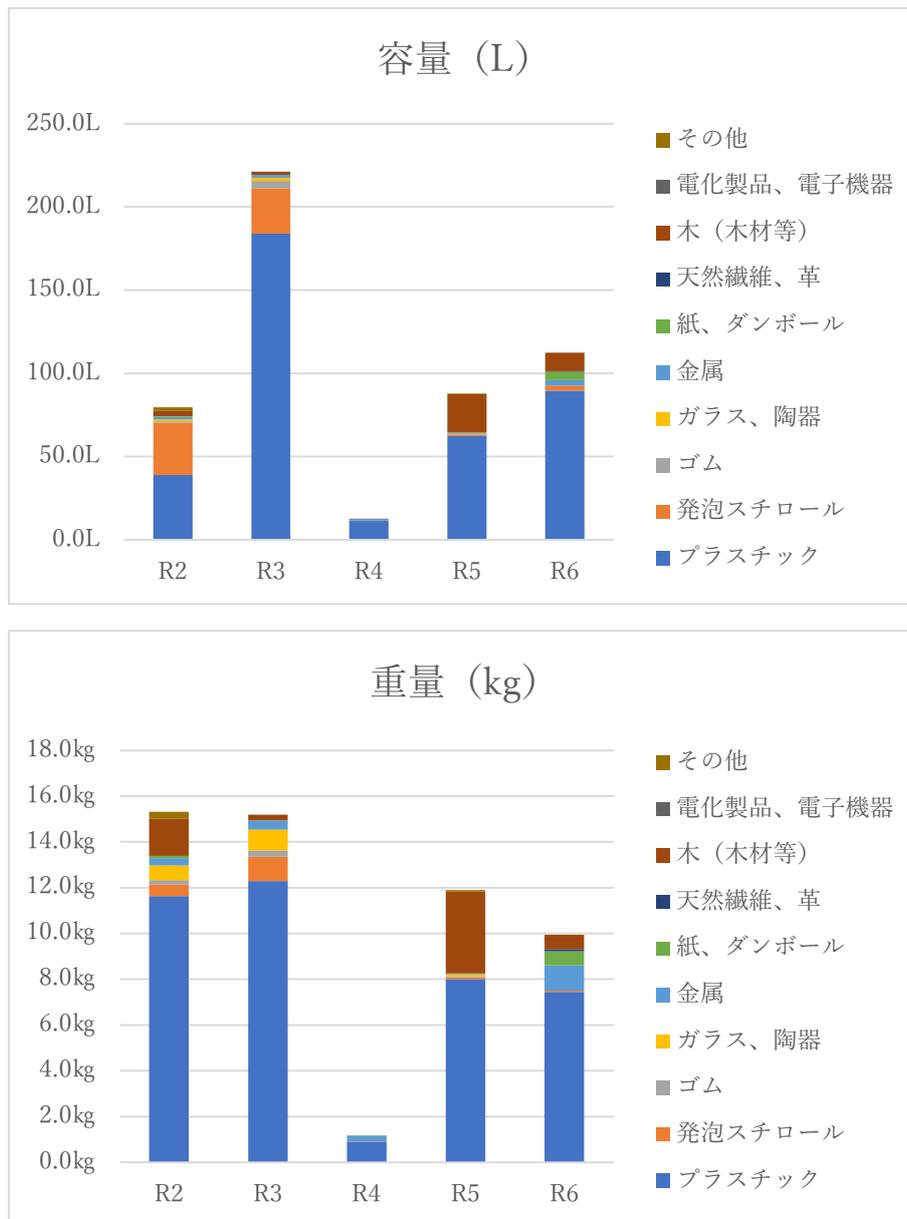


図 4.2-1 九十九里海岸・中谷里における人工物の経年変化

次に、自然物、海域由来、人工物における3分類別の比較を行った結果について図 4.2-2 に示す。

経年変化の傾向として概ね個数は、人工物の比率が約6割を占め、次に海域由来が約2割を占めている。容量、重量は、自然物の比率が約5割を占めている。過年度と比較して、令和6年度では全体において人工物の割合が増加した。

これらの傾向について、一時的なものか継続的なものかどうかについては今後の継続的な調査による比較検討が必要と思われる。

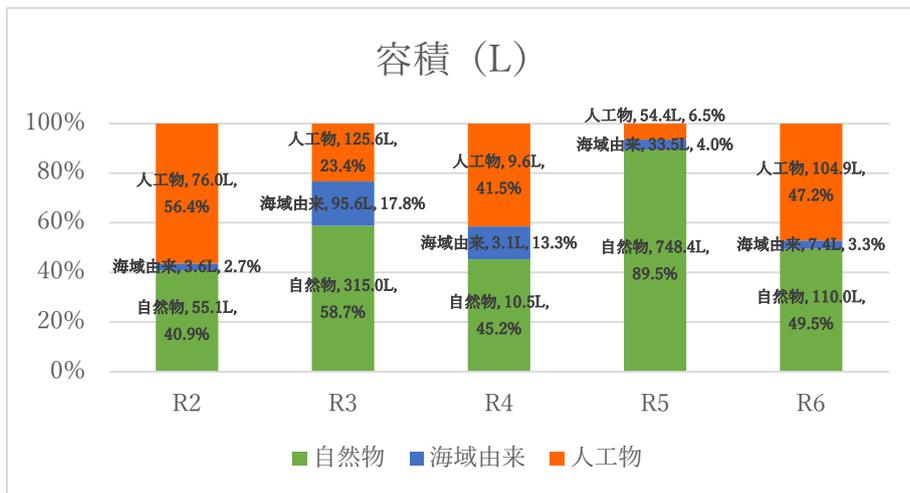
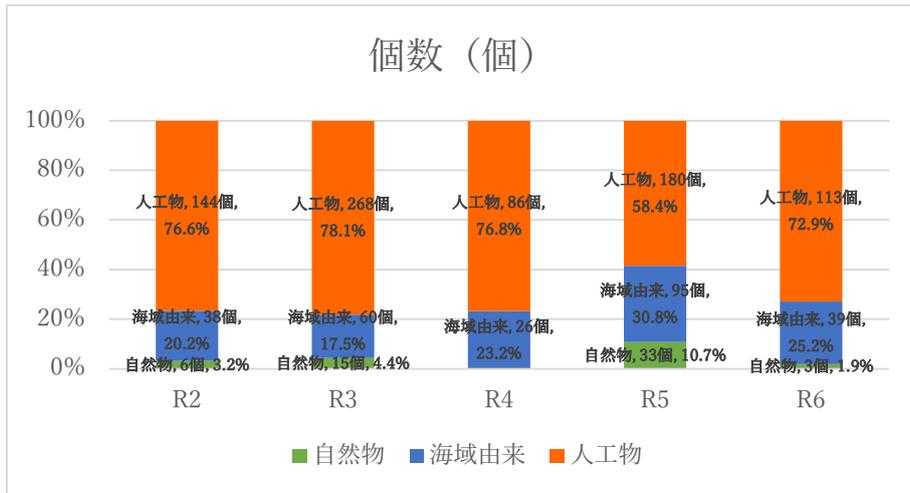


図 4.2-2 九十九里海岸・中谷里における 3 分類別の経年変化